

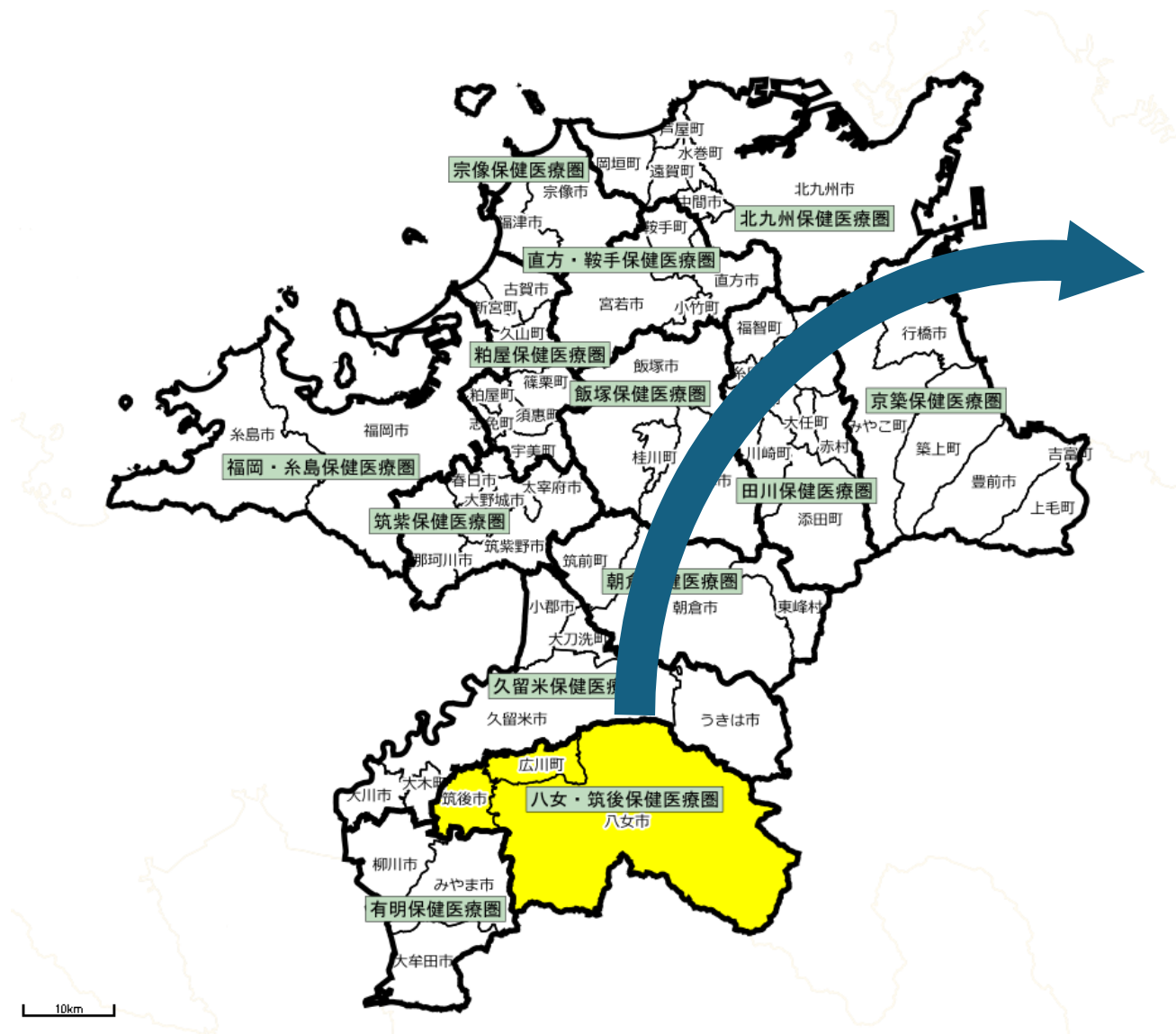
地区診断

—八女・筑後区域—

目次

1 概要	3
2 人口の状況	4
3 出生率の状況	9
4 死亡率の状況	10
5 将来推計人口の推移	11
6 市町別将来推計人口の推移	15
7 SCRの状況	17
8 患者推計	22
9 医療従事者数〔医師〕	24
10 医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11 医療従事者数〔常勤医師〕	27
12 医療介護資源の状況	30
13 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	32
14 在宅医療の状況	37
15 看護職員の状況	42
16 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	44
17 二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	45
18 人口メッシュ（500m）	46
19 （参考）八女市定住自立圏	47
20 救急搬送の状況	48
21 救急医療電話相談利用件数	53
22 MDC別割合	54

1. 概要



構成市町村:2市1町
(八女市、筑後市、広川町)

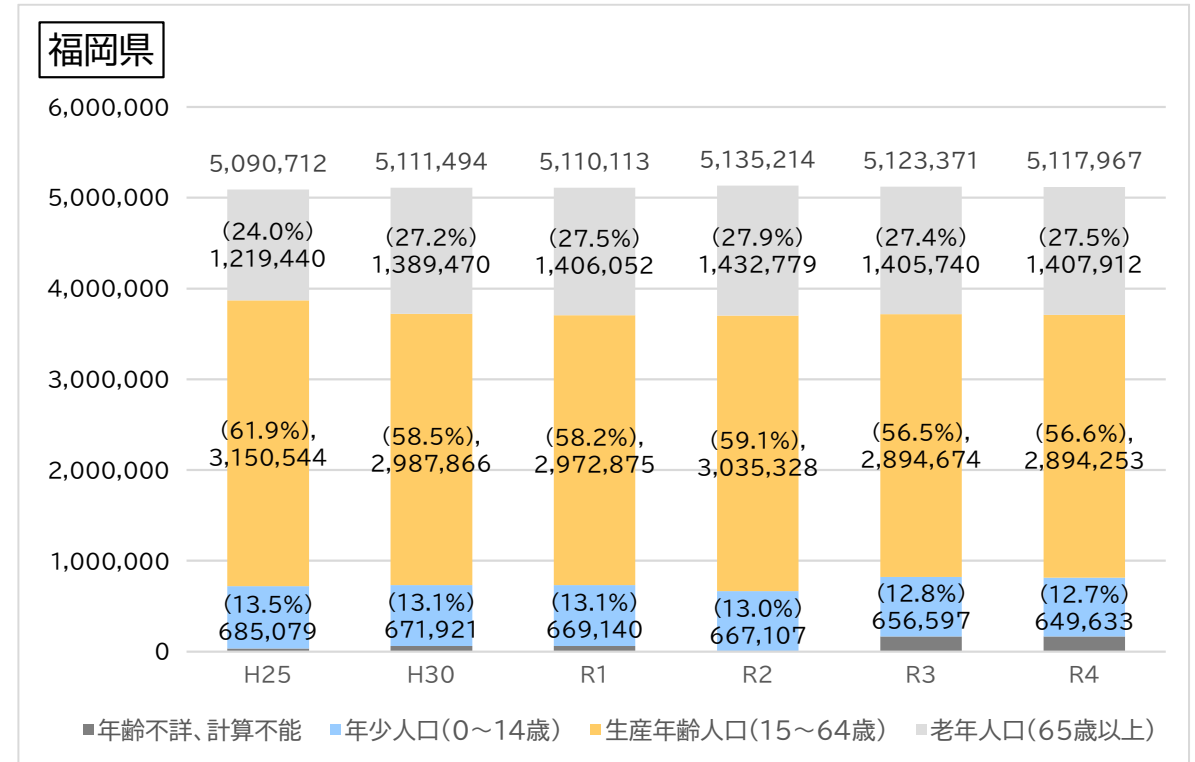
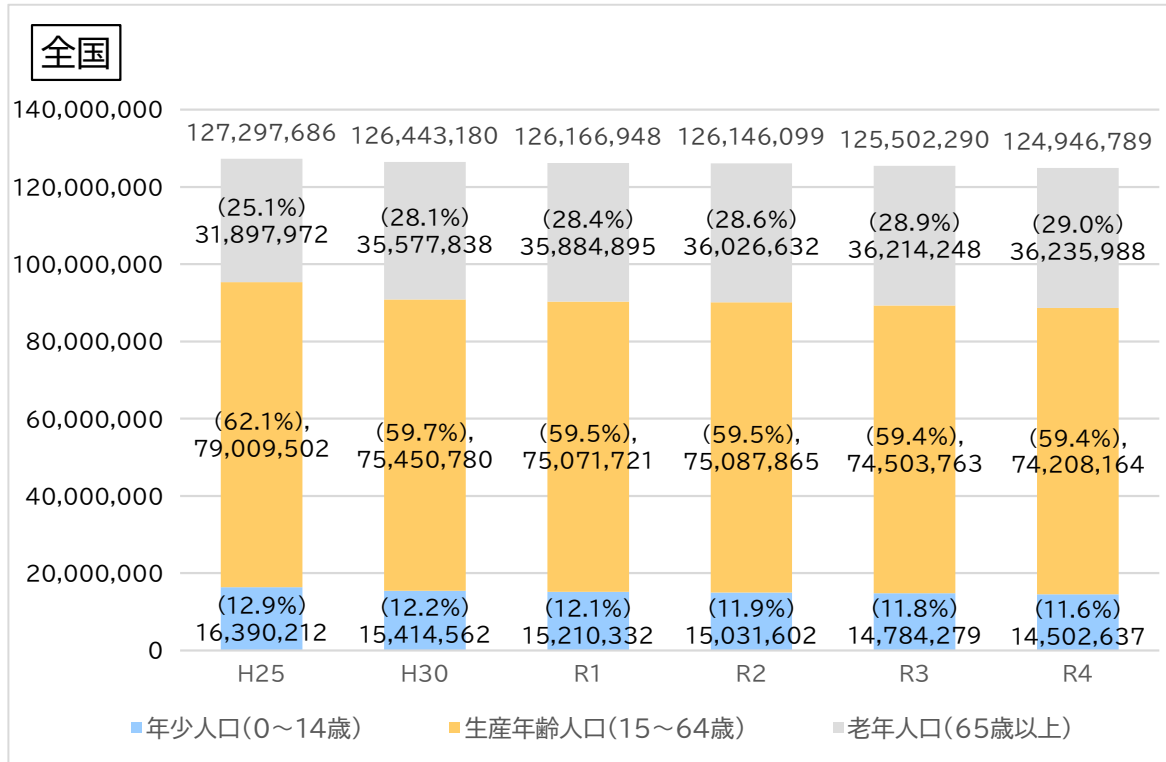
面積:562.16km²

人口:129,404人(令和2年国勢調査)
〔うち年少人口(0~14):16,798人(13%)〕
〔うち生産年齢人口(15~64):70,109人(54.2%)〕
〔うち老年人口(65~):41,368人(32.0%)〕

出生数:901人(令和4年福岡県保健統計年報)
(人口千対:7.1)※ 県平均7.1

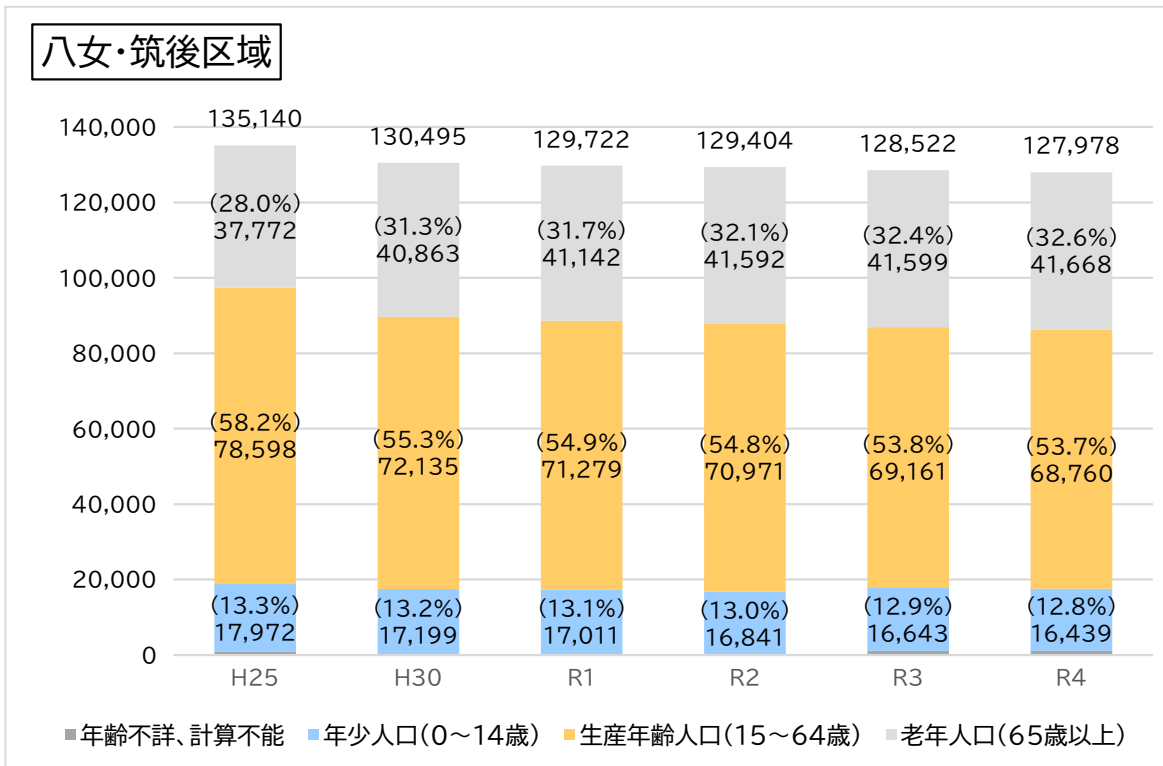
死亡数:1,776人(令和4年福岡県保健統計年報)
(人口千対:14.0)※ 県平均12.2

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口については、減少傾向

- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている

- ・老年人口の割合は、30%を超えており、H25年度からR4年度までで、4.6ポイント増加している

- ・R4年度の各市町の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合が八女市では30%台後半、筑後市では30%未満など各市町で状況は様々となっている

2. 人口の状況（「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」）

●八女・筑後区域の各市町の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
八女市	7,889 (11.9%)	37,587 (56.5%)	21,000 (31.6%)	66,489	7,311 (11.8%)	32,608 (52.6%)	21,971 (35.4%)	62,012	7,190 (11.8%)	31,736 (51.9%)	22,052 (36.1%)	61,097	7,061 (11.7%)	31,340 (51.7%)	22,207 (36.6%)	60,608	7,006 (11.7%)	30,360 (50.5%)	22,104 (36.8%)	60,069	6,891 (11.6%)	29,904 (50.3%)	22,067 (37.1%)	59,455
筑後市	7,164 (14.8%)	28,909 (59.6%)	11,678 (24.1%)	48,505	7,093 (14.6%)	28,245 (58.2%)	13,142 (27.1%)	48,557	7,066 (14.5%)	28,358 (58.2%)	13,253 (27.2%)	48,752	7,103 (14.5%)	28,362 (58.1%)	13,362 (27.4%)	48,827	6,984 (14.4%)	27,884 (57.5%)	13,450 (27.7%)	48,536	6,971 (14.3%)	27,996 (57.5%)	13,536 (27.8%)	48,720
広川町	2,919 (14.5%)	12,102 (60.1%)	5,094 (25.3%)	20,146	2,795 (14.0%)	11,282 (56.6%)	5,750 (28.9%)	19,926	2,755 (13.9%)	11,185 (56.3%)	5,837 (29.4%)	19,873	2,677 (13.4%)	11,269 (56.4%)	6,023 (30.2%)	19,969	2,653 (13.3%)	10,917 (54.8%)	6,045 (30.4%)	19,917	2,577 (13.0%)	10,860 (54.8%)	6,065 (30.6%)	19,803

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

●昼夜間人口

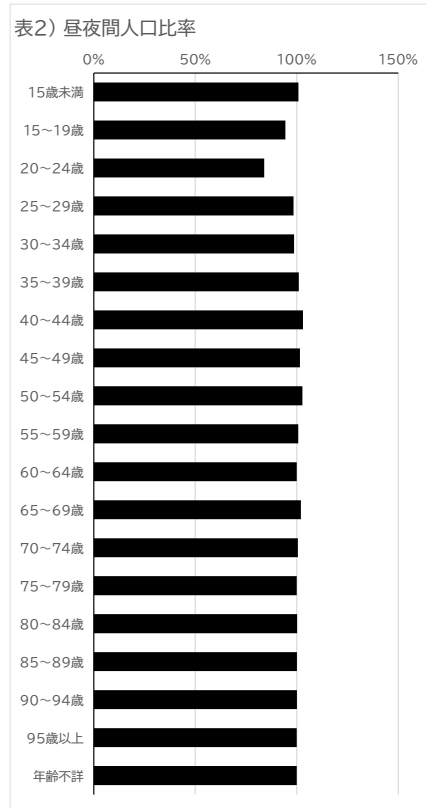
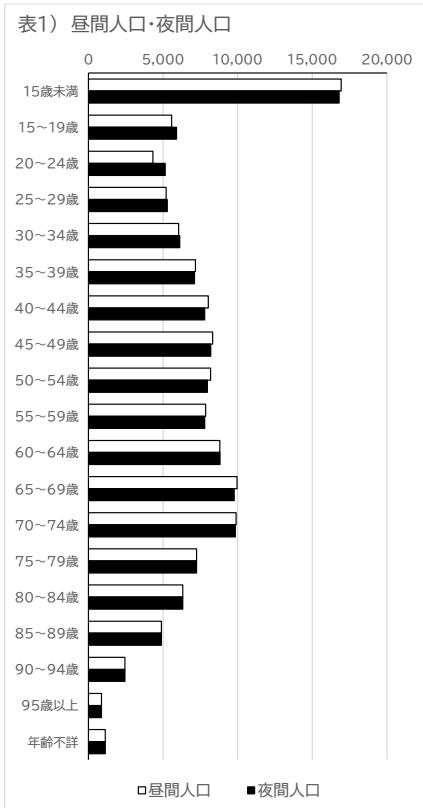


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	61,374	67,837	61,440	67,964	-66	-127	99.9%	99.8%
15歳未満	8,643	8,300	8,559	8,239	84	61	101.0%	100.7%
15～19歳	2,887	2,690	2,937	2,968	-50	-278	98.3%	90.6%
20～24歳	2,198	2,122	2,569	2,576	-371	-454	85.6%	82.4%
25～29歳	2,647	2,552	2,606	2,677	41	-125	101.6%	95.3%
30～34歳	3,007	3,033	3,054	3,065	-47	-32	98.5%	99.0%
35～39歳	3,636	3,537	3,625	3,478	11	59	100.3%	101.7%
40～44歳	3,960	4,072	3,850	3,941	110	131	102.9%	103.3%
45～49歳	4,174	4,147	4,145	4,047	29	100	100.7%	102.5%
50～54歳	3,958	4,229	3,817	4,149	141	80	103.7%	101.9%
55～59歳	3,717	4,133	3,783	4,012	-66	121	98.3%	103.0%
60～64歳	4,220	4,588	4,321	4,489	-101	99	97.7%	102.2%
65～69歳	4,921	5,037	4,797	4,963	124	74	102.6%	101.5%
70～74歳	4,722	5,176	4,692	5,151	30	25	100.6%	100.5%
75～79歳	3,192	4,053	3,200	4,048	-8	5	99.8%	100.1%
80～84歳	2,456	3,869	2,452	3,863	4	6	100.2%	100.2%
85～89歳	1,654	3,236	1,653	3,235	1	1	100.1%	100.0%
90～94歳	619	1,828	617	1,828	2	0	100.3%	100.0%
95歳以上	148	721	148	721	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	615	514	615	514	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代層は「20-24歳」で、次が「15-19歳」である
- ・昼夜間人口比率は「20-24歳」で90%を切っており、若い年代が域外に流出しているものと思料
- ・就業の年代(25-64)で見ると、男女とも昼夜間人口比率は概ね100%前後で、域外への流出傾向は弱いものと思料

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	28,498	29,201	22,488	23,437	6,010	5,764	0	0
	従業も通学もしていない	15,982	26,280					15,982	26,280
	不詳	5,965	5,185	1,350	968	662	617	3,953	3,600
	計	50,445	60,666	23,838	24,405	6,672	6,381	19,935	29,880
流出	他地域に従業・通学	10,995	7,298	9,863	6,081	1,132	1,217	0	0
流入	他地域から従業・通学	10,929	7,171	10,000	6,367	929	804	0	0

主な流出先

【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 久留米市	7,468	46.84%	1 福岡県 久留米市	870	37.04%
2 福岡県 みやま市	1,035	6.49%	2 福岡県 大牟田市	254	10.81%
3 福岡県 柳川市	970	6.08%	3 福岡県 福岡市博多区	196	8.34%
4 福岡県 福岡市博多区	746	4.68%	4 福岡県 柳川市	136	5.79%
5 福岡県 大牟田市	720	4.52%	5 福岡県 福岡市城南区	135	5.75%

【通学】

主な流入元

【就業】

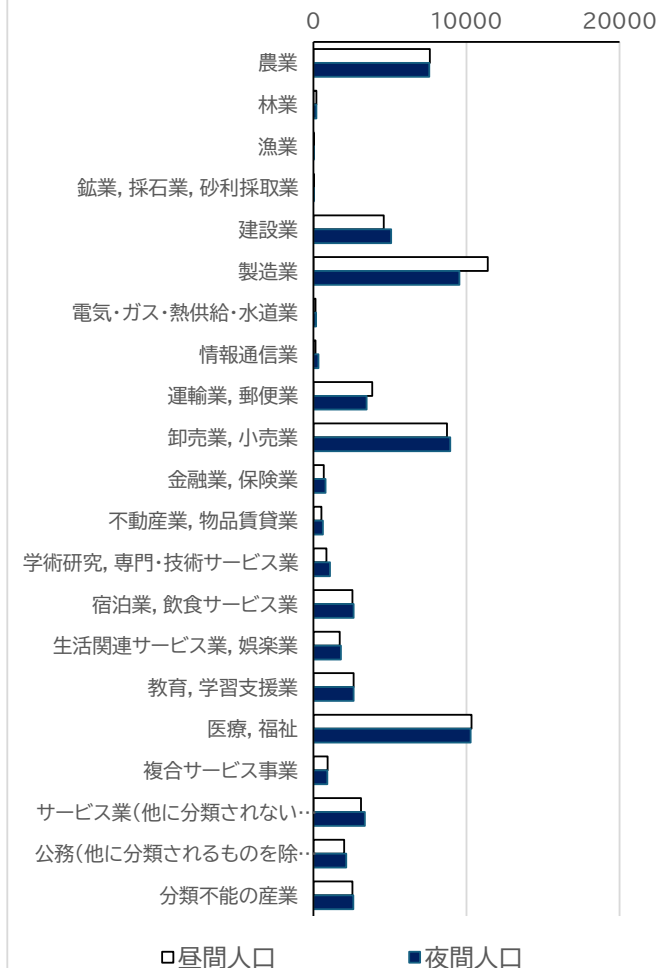
市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 久留米市	7,547	46.11%	1 福岡県 久留米市	830	47.89%
2 福岡県 みやま市	1,883	11.50%	2 福岡県 柳川市	229	13.21%
3 福岡県 柳川市	1,737	10.61%	3 福岡県 みやま市	186	10.73%
4 福岡県 大木町	891	5.44%	4 福岡県 大木町	115	6.64%
5 福岡県 大川市	751	4.59%	5 福岡県 大川市	99	5.71%

【通学】

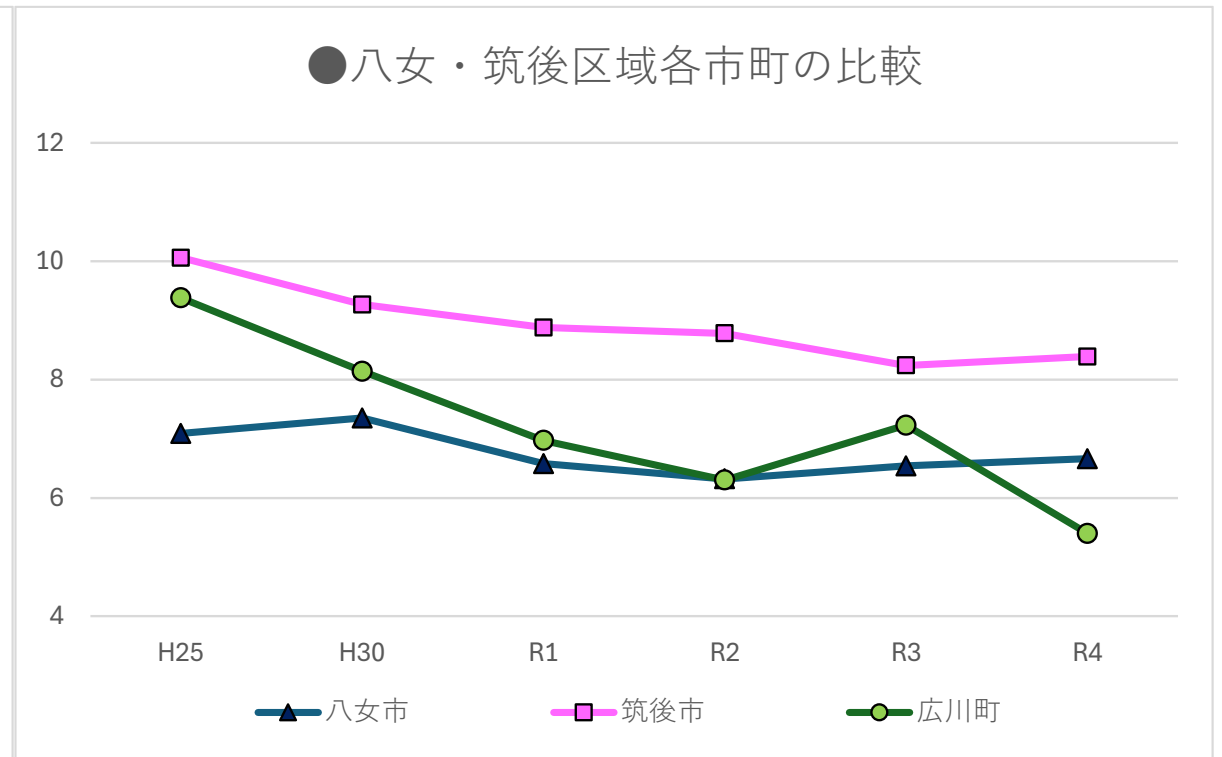
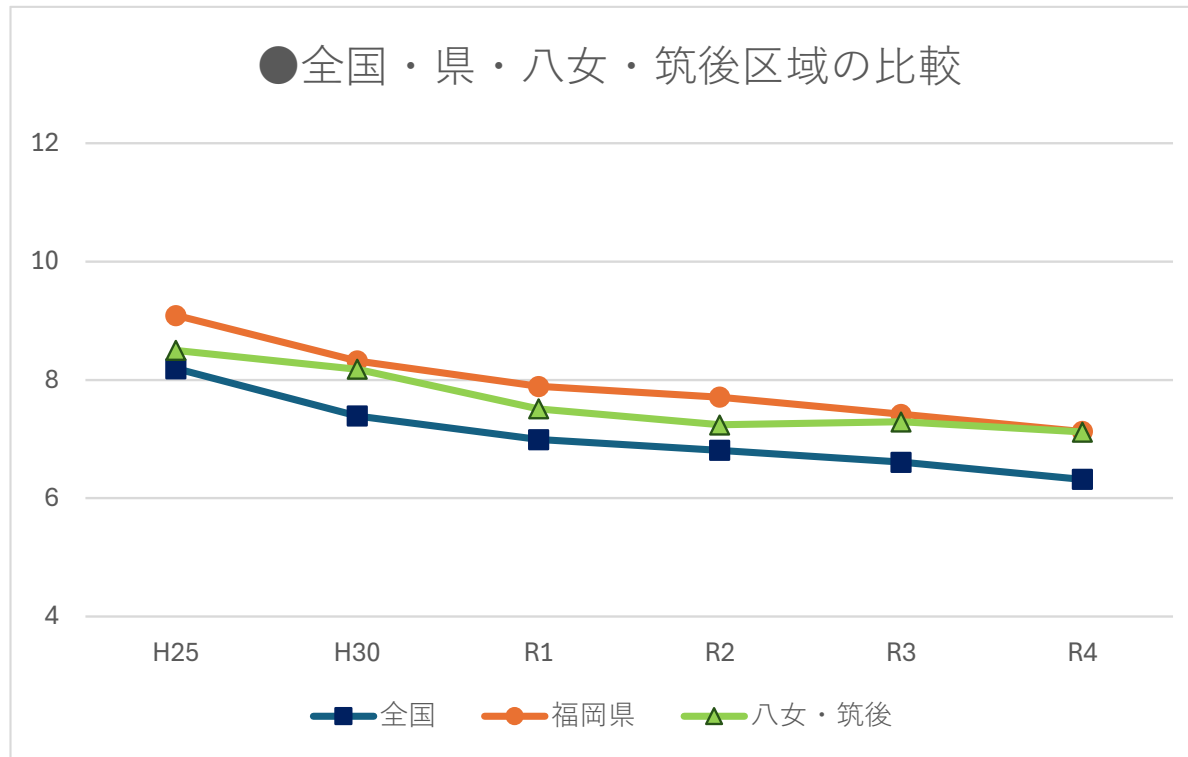
- ・ 就業者は、男女とも流入が多い
- ・ 通学者は、男女ともに流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、製造業が最も多く、次いで医療・福祉、卸売業・小売業となっている
製造業は、夜間人口よりも昼間人口が多いなど、地区内の製造業に他地区から流入している状況がみられる

表5) 昼間人口・夜間人口

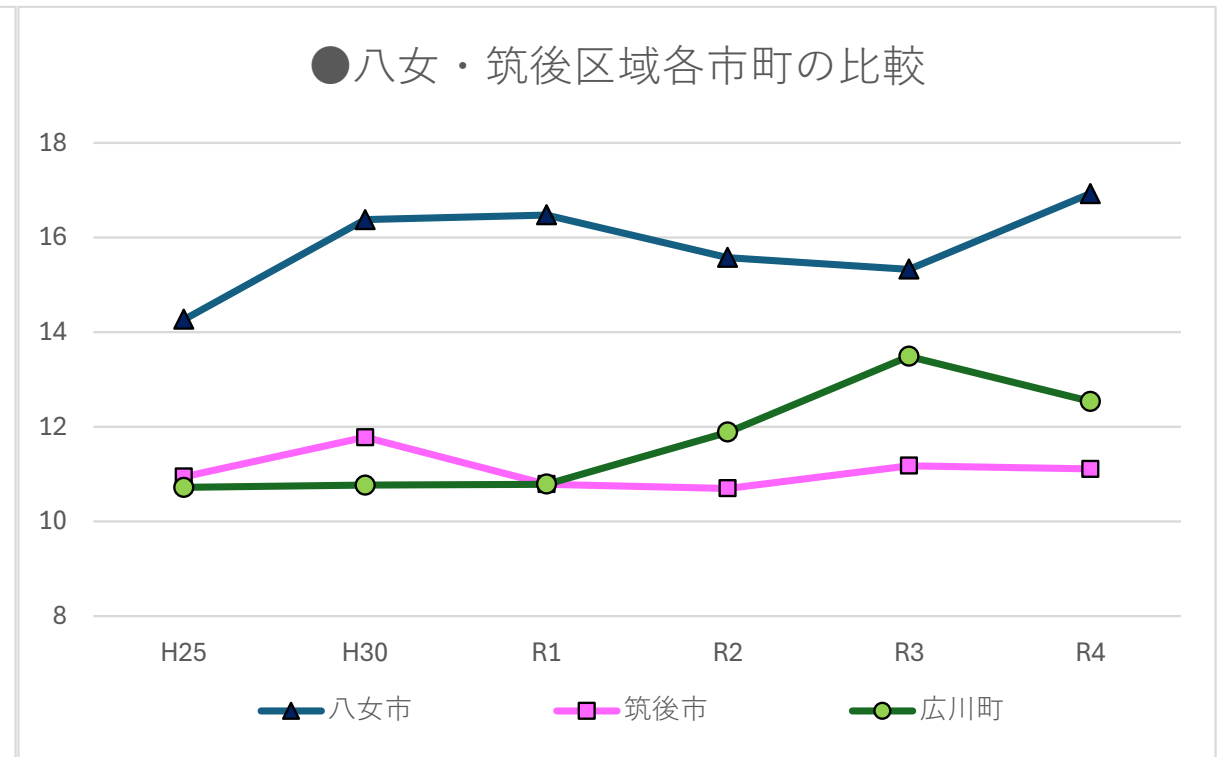
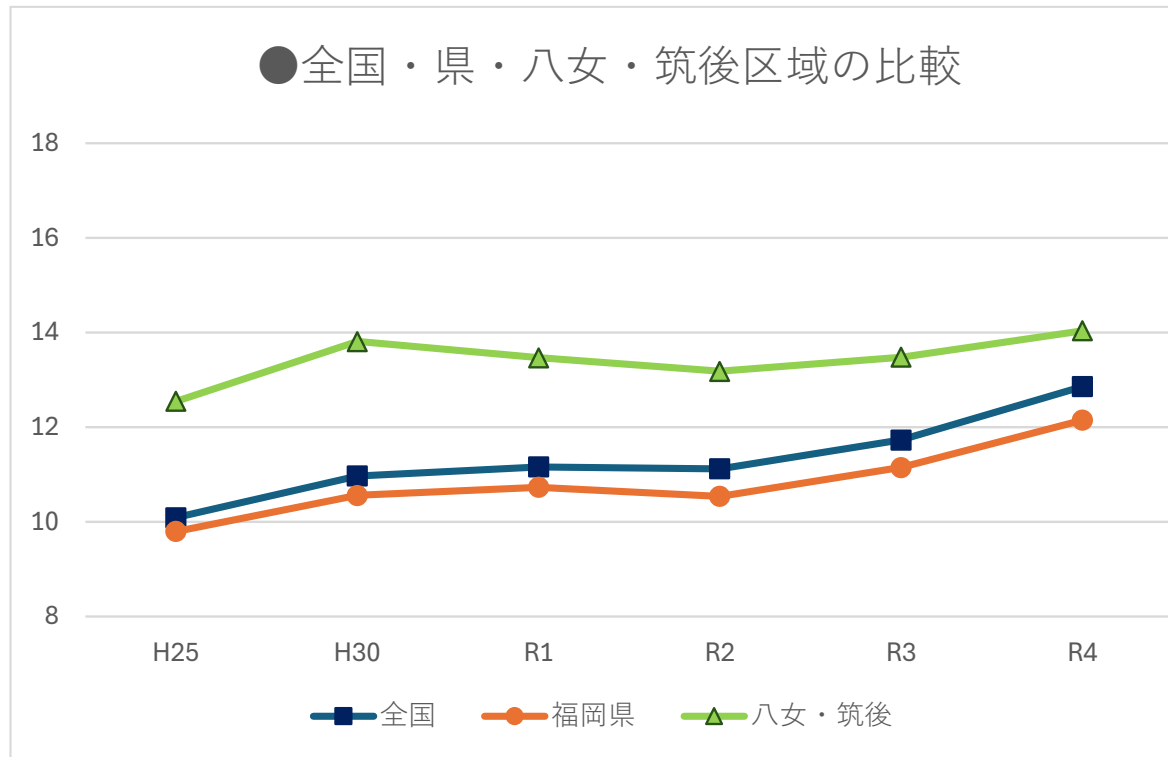


3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



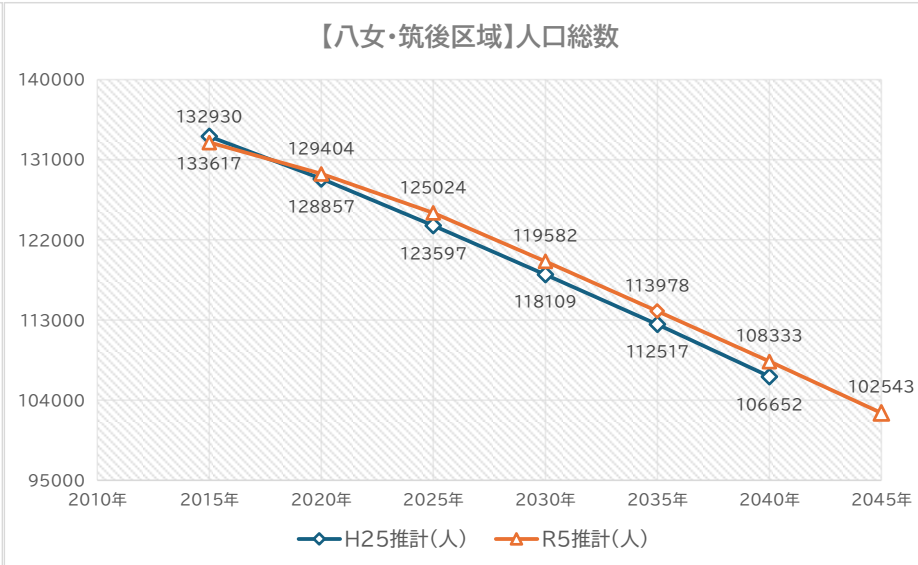
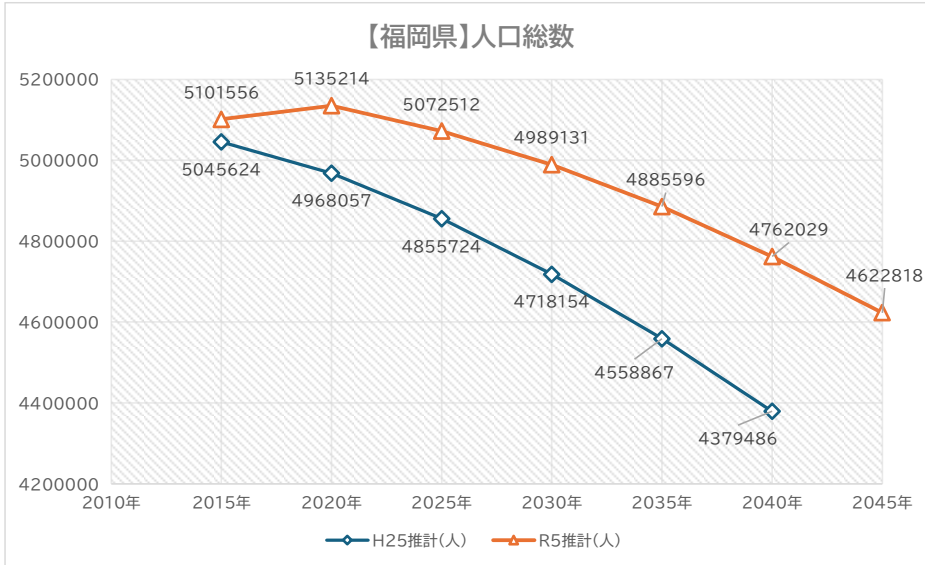
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、八女・筑後区域とも低下傾向となっている
- ・市町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年で県平均(7.1%)よりも高い市町は筑後市で、県平均より低い市町は八女市、広川町である

4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、八女・筑後区域ともに上昇傾向となっている
- ・八女・筑後区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・市町別を見ると、各市町で異なった動きをしており、八女市、広川町は概ね上昇傾向、筑後市は横ばいである
- ・R4年の県平均(12.2%)よりも死亡率が低い市町は、筑後市のみである

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



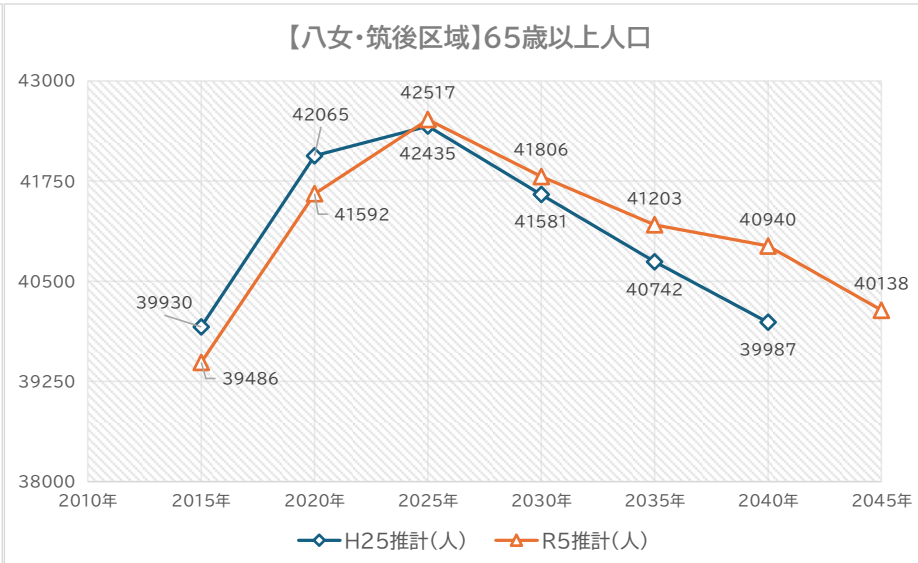
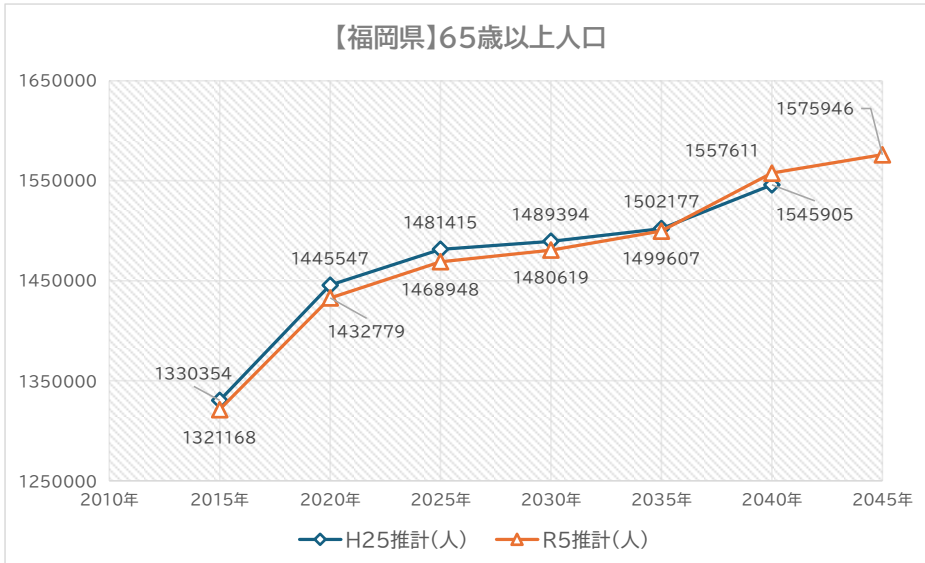
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

【八女・筑後区域】

当初推計と同様の傾向で推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

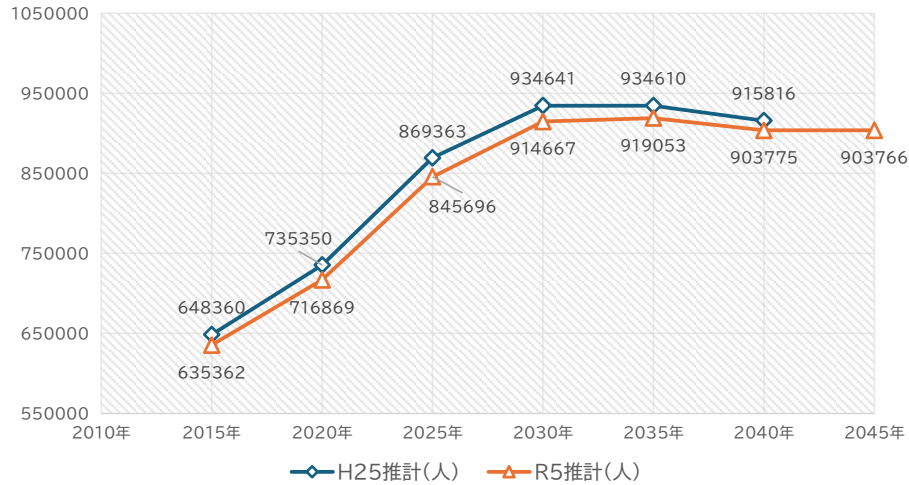
当初の推計と同様の傾向で推移する

【八女・筑後区域】

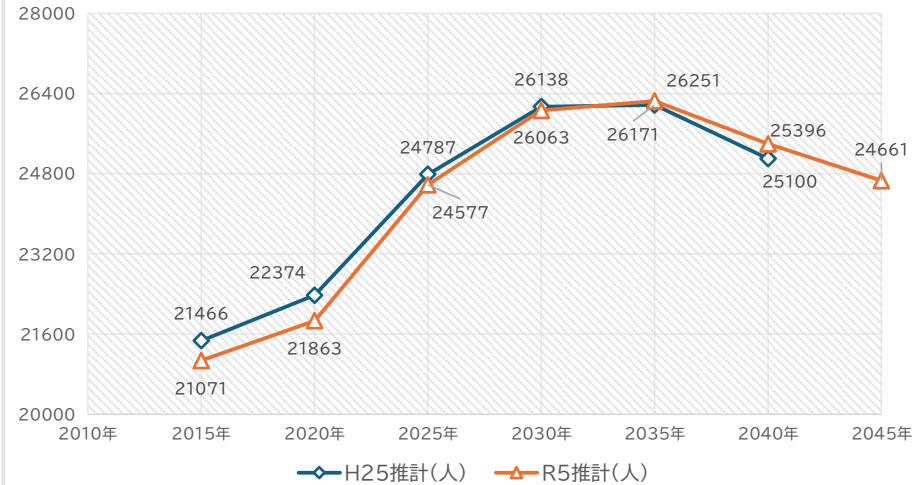
当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【福岡県】75歳以上人口



【八女・筑後区域】75歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

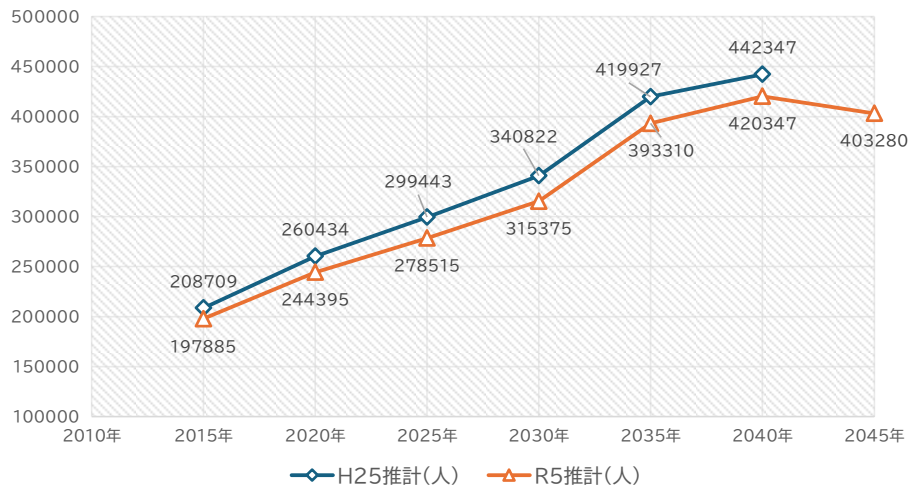
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

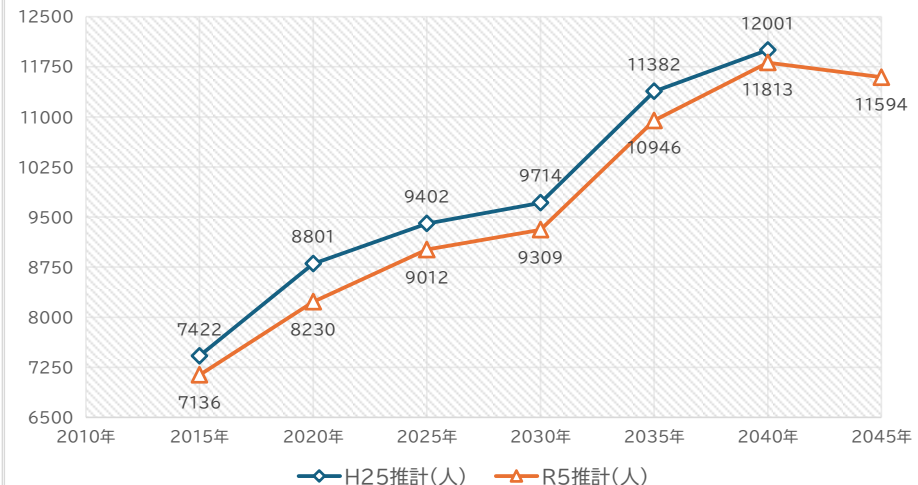
【八女・筑後区域】

当初推計と同様の傾向で推移する見込み

【福岡県】85歳以上人口



【八女・筑後区域】85歳以上人口



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

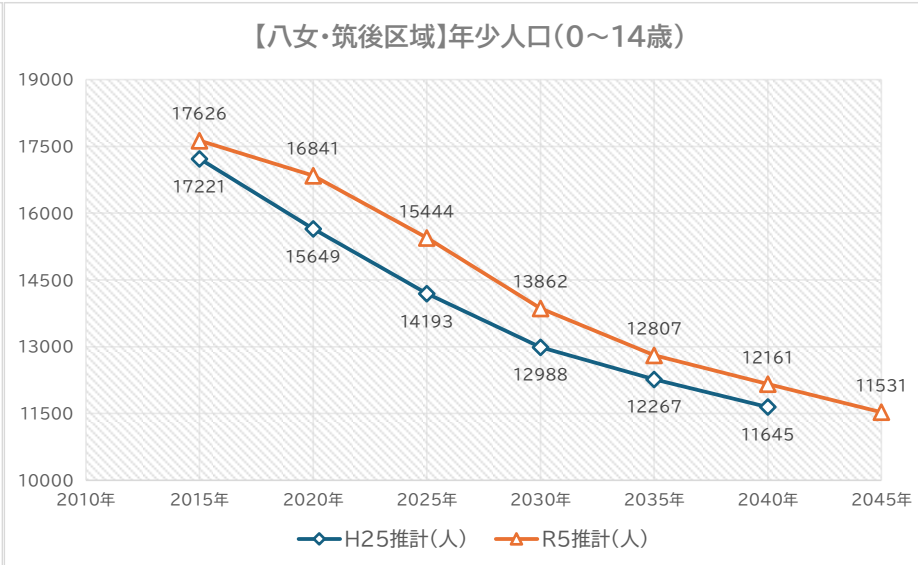
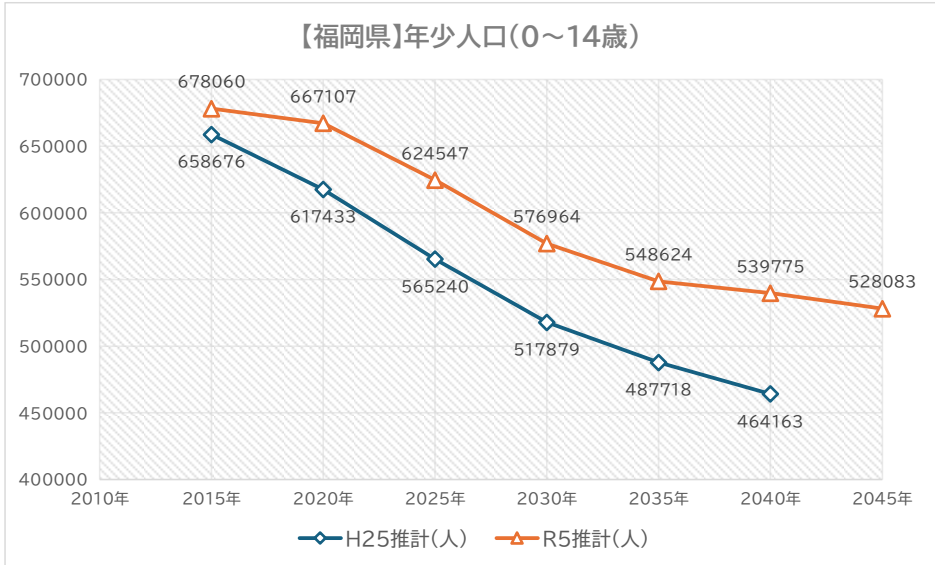
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【八女・筑後区域】

当初推計とほぼ同様の傾向で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

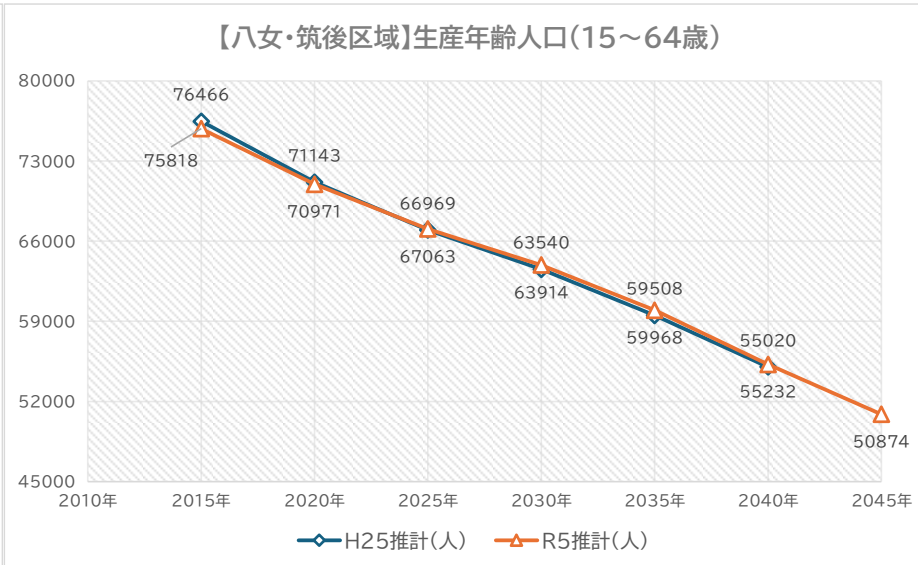
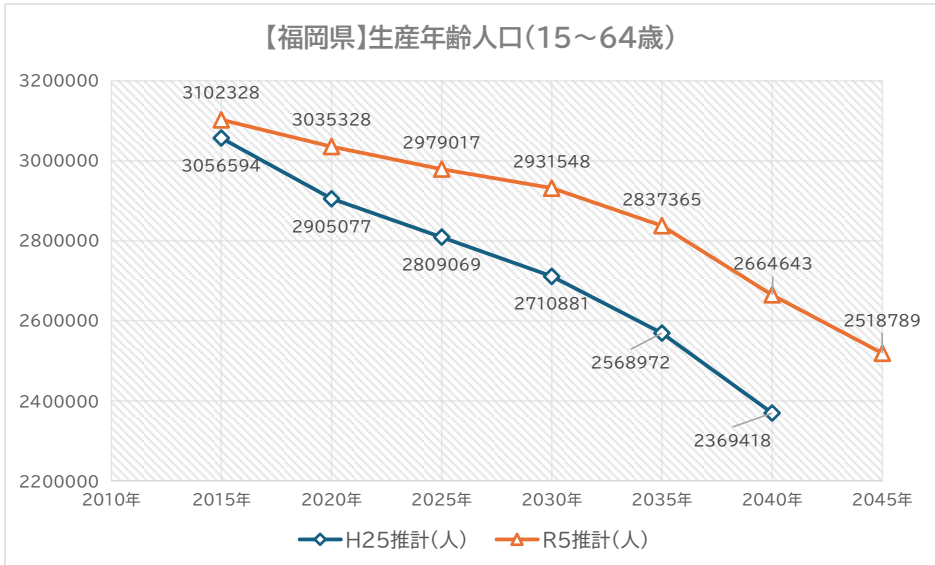
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【八女・筑後区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

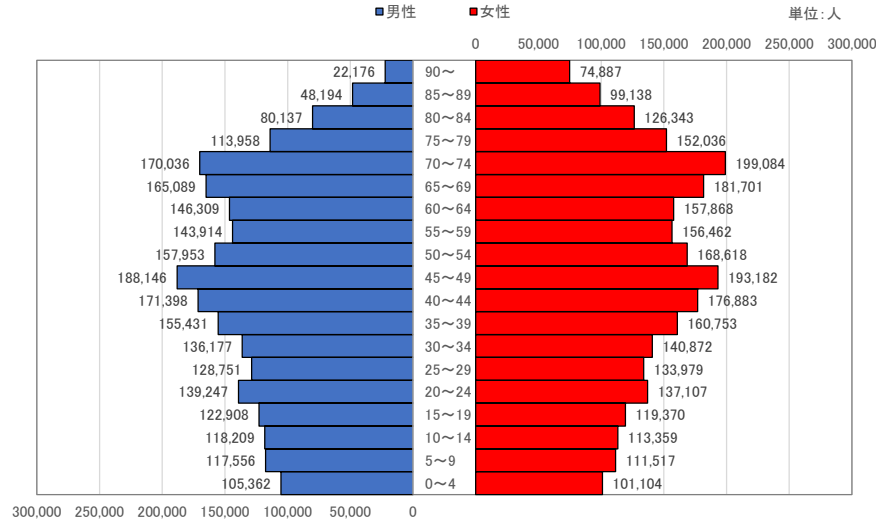
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【八女・筑後区域】

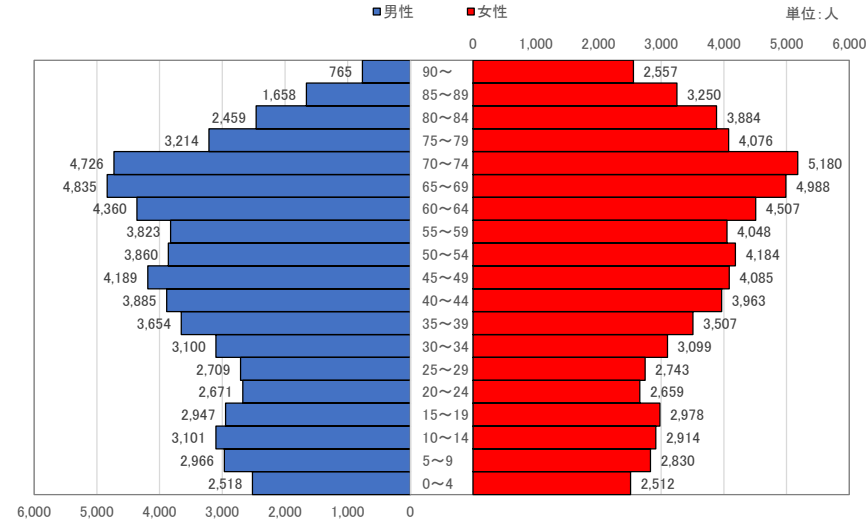
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(八女・筑後)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

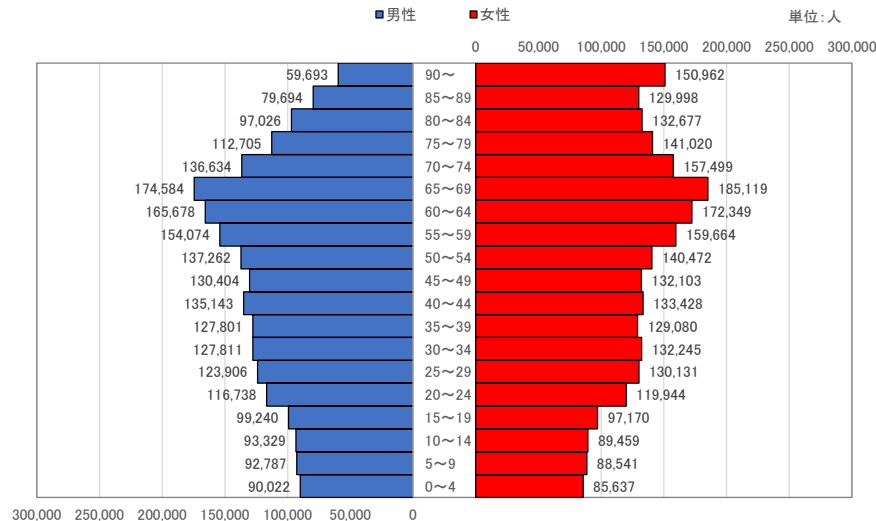
【八女・筑後区域】
福岡県全体と比較して65歳以上の老年人口のボリュームが大きく、一定の規模を維持している

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

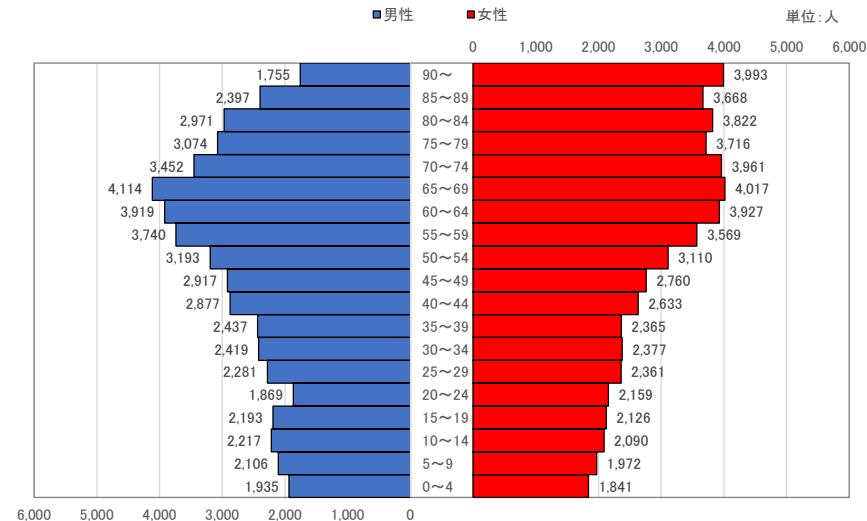
【福岡県全体】
ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

【八女・筑後区域】
65歳以上の老年人口が一定の規模を維持しつつ推移しているため、2020年時点に比べて少子高齢化がさらに進み、より底が狭まったつぼ型となっている
また、この形状の変化は、男性よりも女性で顕著に見られる

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(八女・筑後)2040年】



6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
八女市	60,608	57,013	52,813	48,683	44,693	40,788	37,097	38.8%
筑後市	48,827	48,508	47,852	46,999	45,989	44,816	43,534	10.8%
広川町	19,969	19,503	18,917	18,296	17,651	16,939	16,184	19.0%
八女・筑後計	129,404	125,024	119,582	113,978	108,333	102,543	96,815	25.2%

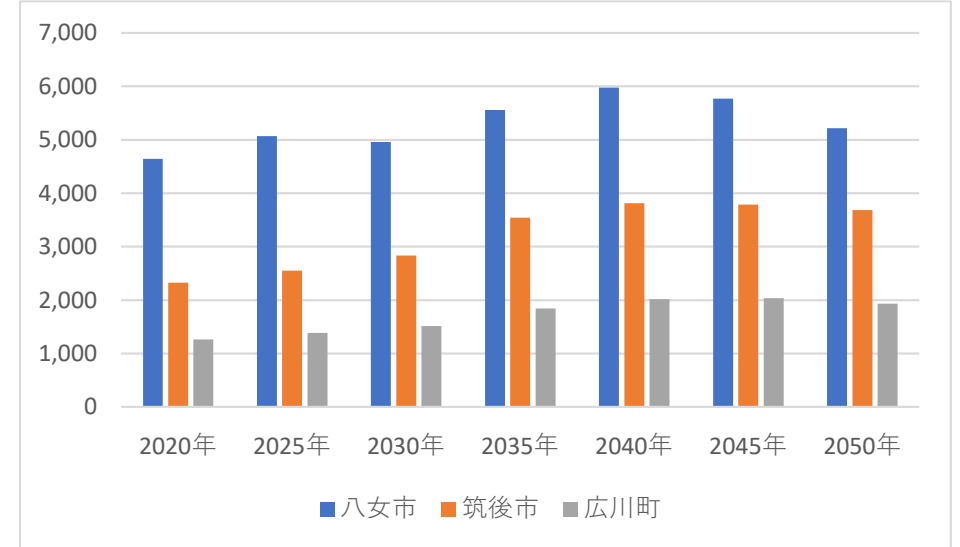
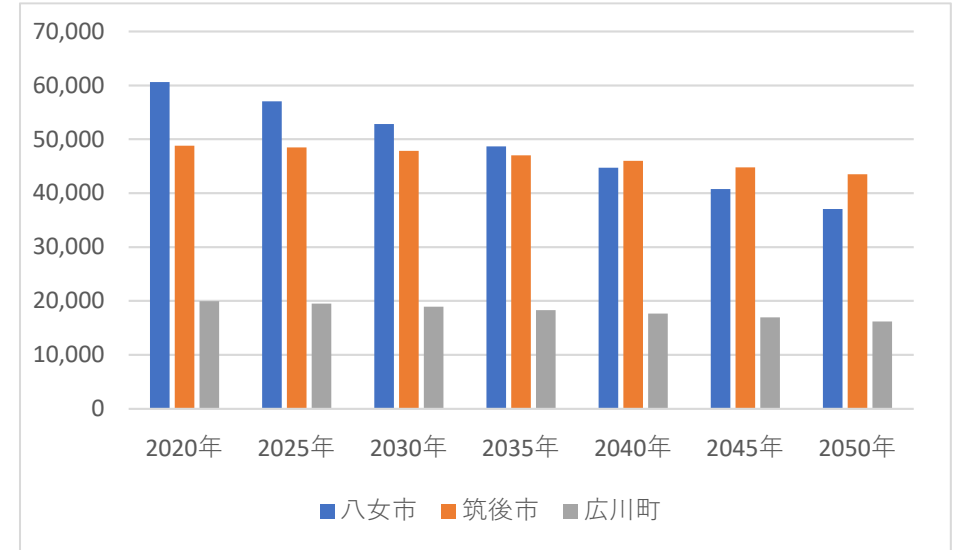
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で25.2%

・減少率を市町別で見ると、筑後市は10.8%で最も低く、八女市は、38.8%で最も高い

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
八女市	4,642	5,070	4,957	5,559	5,978	5,770	5,217	28.8%
筑後市	2,324	2,552	2,837	3,541	3,817	3,786	3,684	64.2%
広川町	1,264	1,390	1,515	1,846	2,018	2,038	1,934	59.7%
八女・筑後計	8,230	9,012	9,309	10,946	11,813	11,594	10,835	43.5%

・八女市、筑後市は2040年に、広川町は2045年にピークを迎え、その後減少していく

・増加率(2020→2040)を市町別で見ると、筑後市、広川町で筑後地域全体を大きく上回っており、筑後市で60%を超えている 最も増加率が低いのは八女市で28.8%となっている



6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
八女市	31,340	28,444	25,998	23,635	21,013	18,644	16,538	47.2%
筑後市	28,362	27,788	27,382	26,442	25,037	23,739	22,594	20.3%
広川町	11,269	10,831	10,534	9,891	9,182	8,491	7,904	29.9%
八女・筑後計	70,971	67,063	63,914	59,968	55,232	50,874	47,036	33.7%

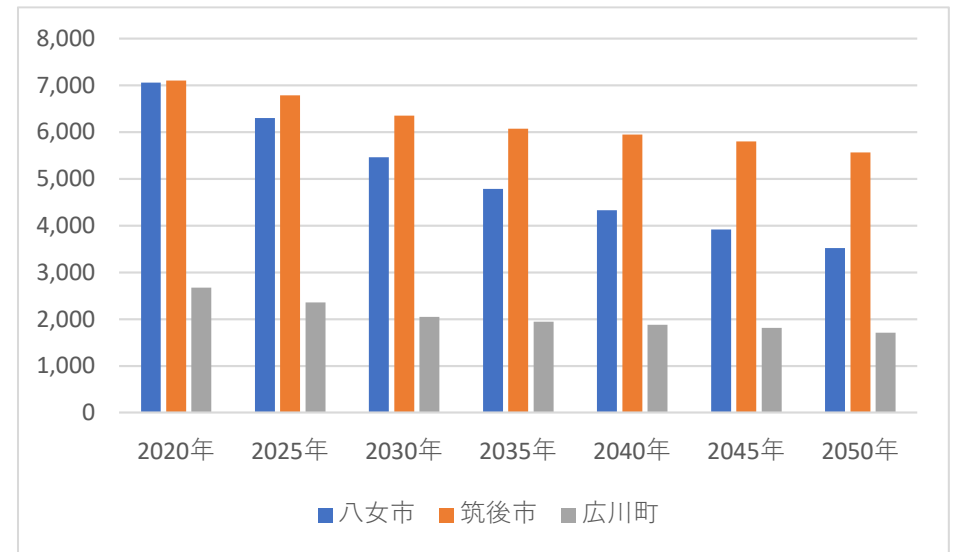
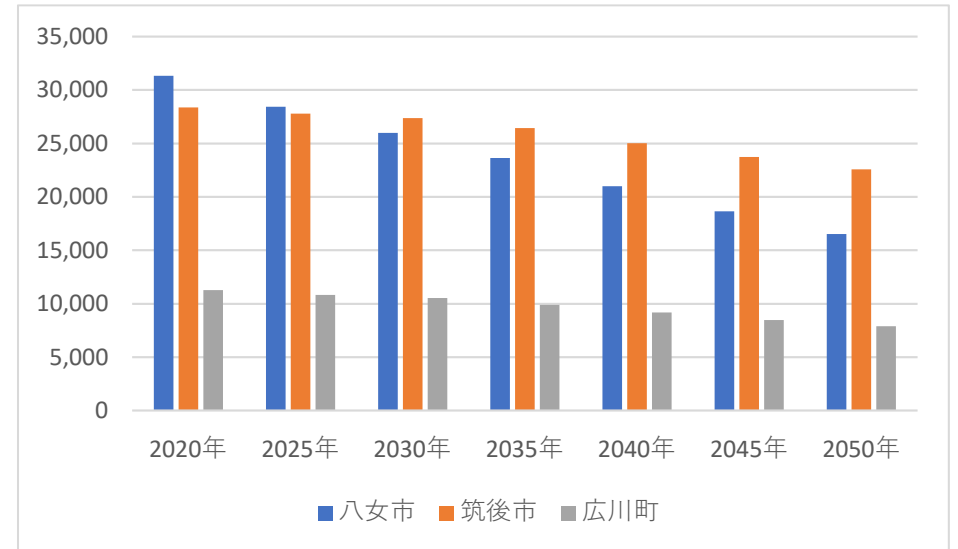
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、八女市が概ね50%、筑後市が20%である

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
八女市	7,061	6,298	5,463	4,787	4,332	3,916	3,521	50.1%
筑後市	7,103	6,787	6,354	6,076	5,951	5,804	5,565	21.7%
広川町	2,677	2,359	2,045	1,944	1,878	1,811	1,709	36.2%
八女・筑後計	16,841	15,444	13,862	12,807	12,161	11,531	10,795	35.9%

・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、八女市で50%を超えており、筑後市は20%台である



7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(八女・筑後地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	45.7%	66.7%	60.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	20.0%	54.5%	54.5%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	36.0%	28.2%	25.0%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	27.6%	25.7%	25.7%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	50.0%	50.0%	60.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	25.0%	30.8%	33.3%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	100.0%	71.4%	85.7%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	83.3%	70.0%	80.0%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	45.5%	44.7%	46.3%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	34.4%	56.3%	38.1%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	50.0%	50.0%	33.3%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	25.0%	33.3%	25.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	12.5%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[八女・筑後]入院:194(36.8%)、外来:171(41.4%)、入院+外来140(36.4%)

・A~Nの分野ごとに見ると、八女・筑後区域では「投薬」、「リハビリテーション」が全て100以上で、「精神」の割合も高い

7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの

全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(八女・筑後地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	43.5%	33.3%	40.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	60.0%	36.4%	36.4%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	56.0%	51.3%	50.0%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	64.8%	65.5%	64.6%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	30.0%	50.0%	40.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	25.0%	0.0%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	75.0%	53.8%	58.3%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	0.0%	28.6%	14.3%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	16.7%	30.0%	20.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	47.3%	51.3%	50.7%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	62.1%	40.8%	55.7%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	42.9%	50.0%	66.7%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	75.0%	66.7%	75.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	87.5%	83.3%	85.7%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[八女・筑後]入院:301(57.1%)、外来:212(51.3%)、入院+外来:213(55.3%)

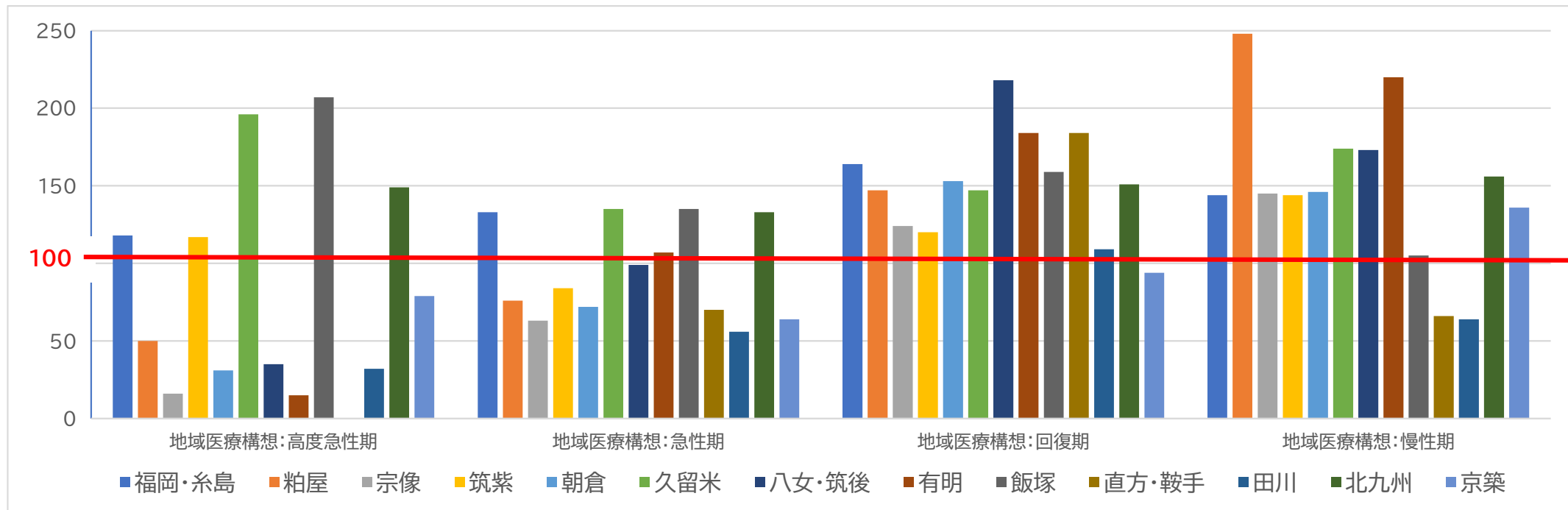
・八女・筑後区域では、90を下回る項目は「病理診断」、「放射線治療」で多い傾向がある

7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

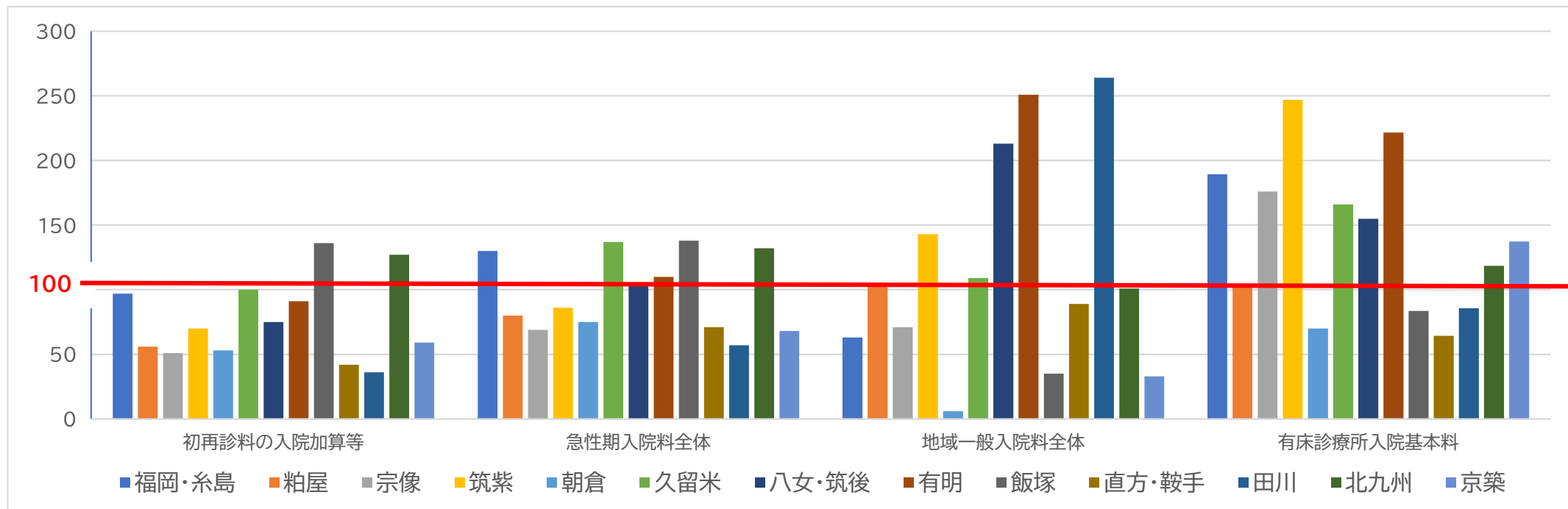


7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137

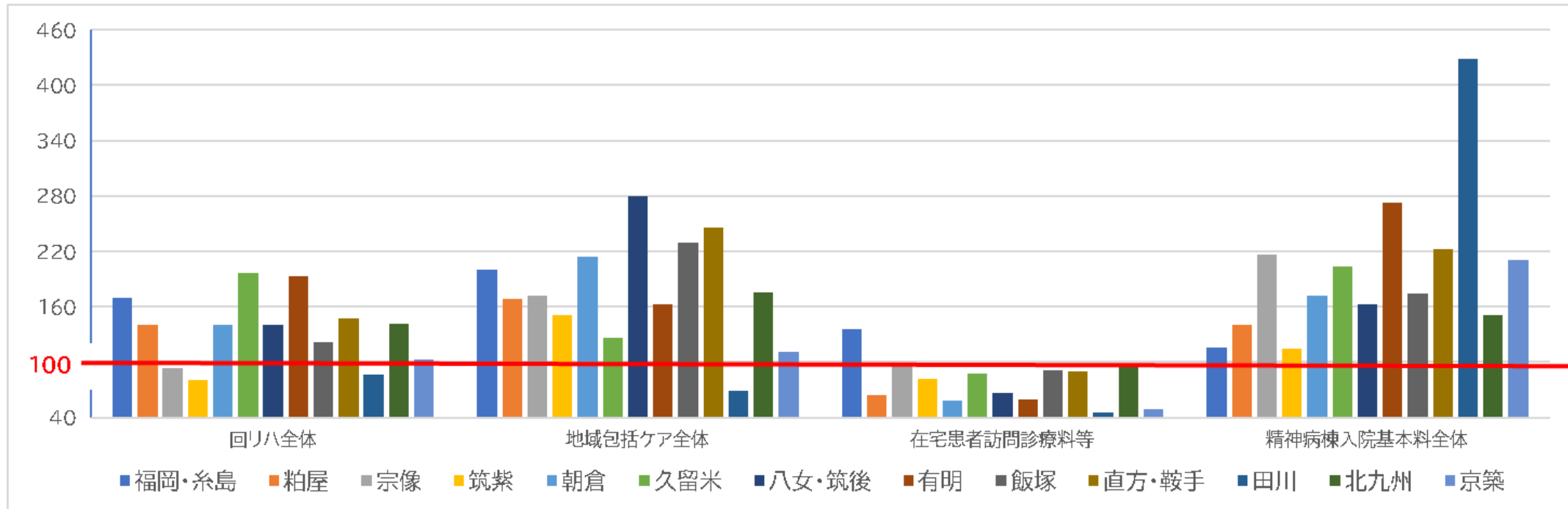


7. SCRの状況（各圏域ごとの比較③）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計（東北大学藤森教授）

（独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの）

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

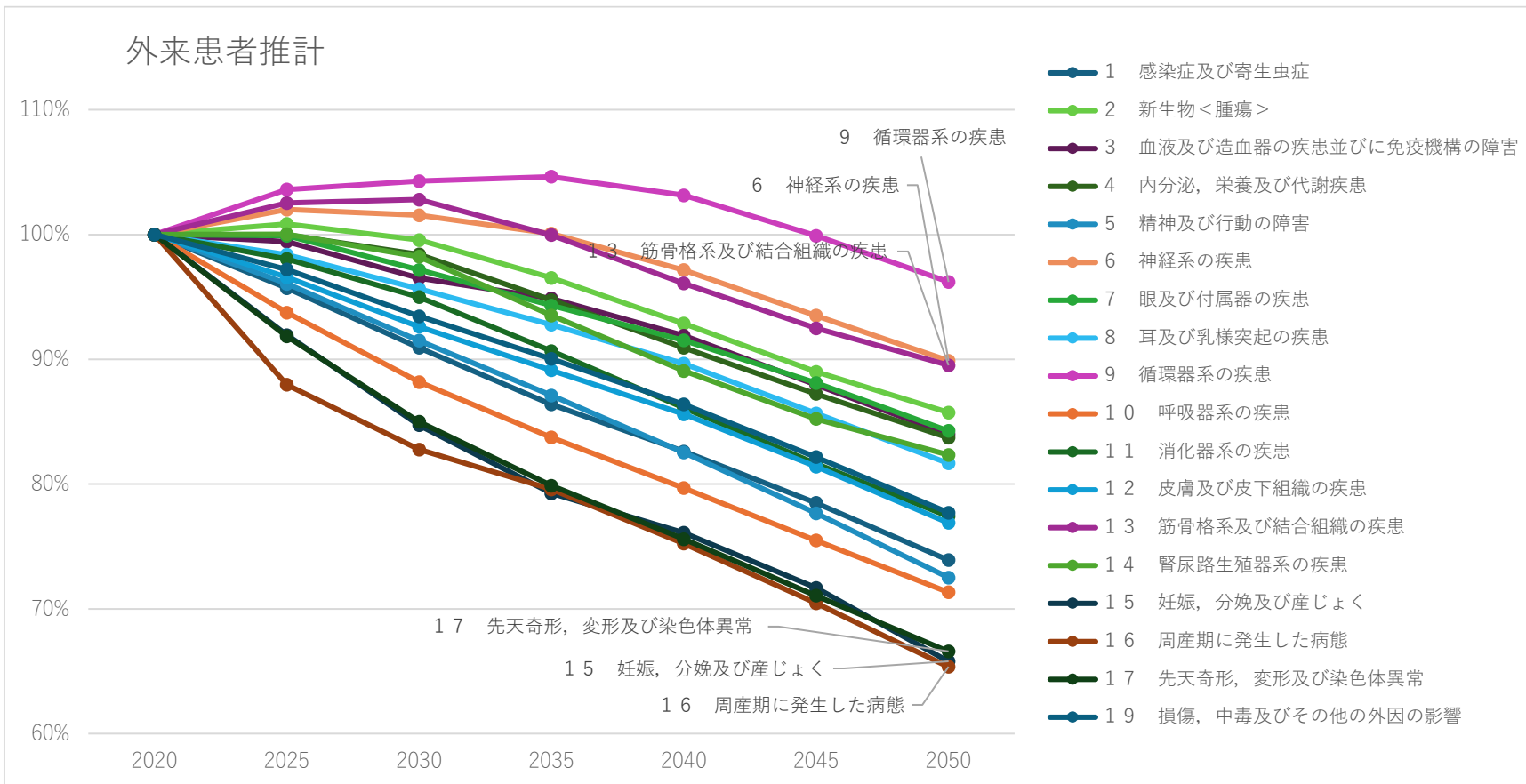


8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

八女・筑後区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

【外来患者推計】

循環器、神経、筋骨格系については、2025～30年頃まで増加が続く
それ以外については、2020年がピークで、漸次減少していく見込み



外来患者数は、多くの疾病が2025年時点で100%を下回っており、外来患者は減り続けるものと思料

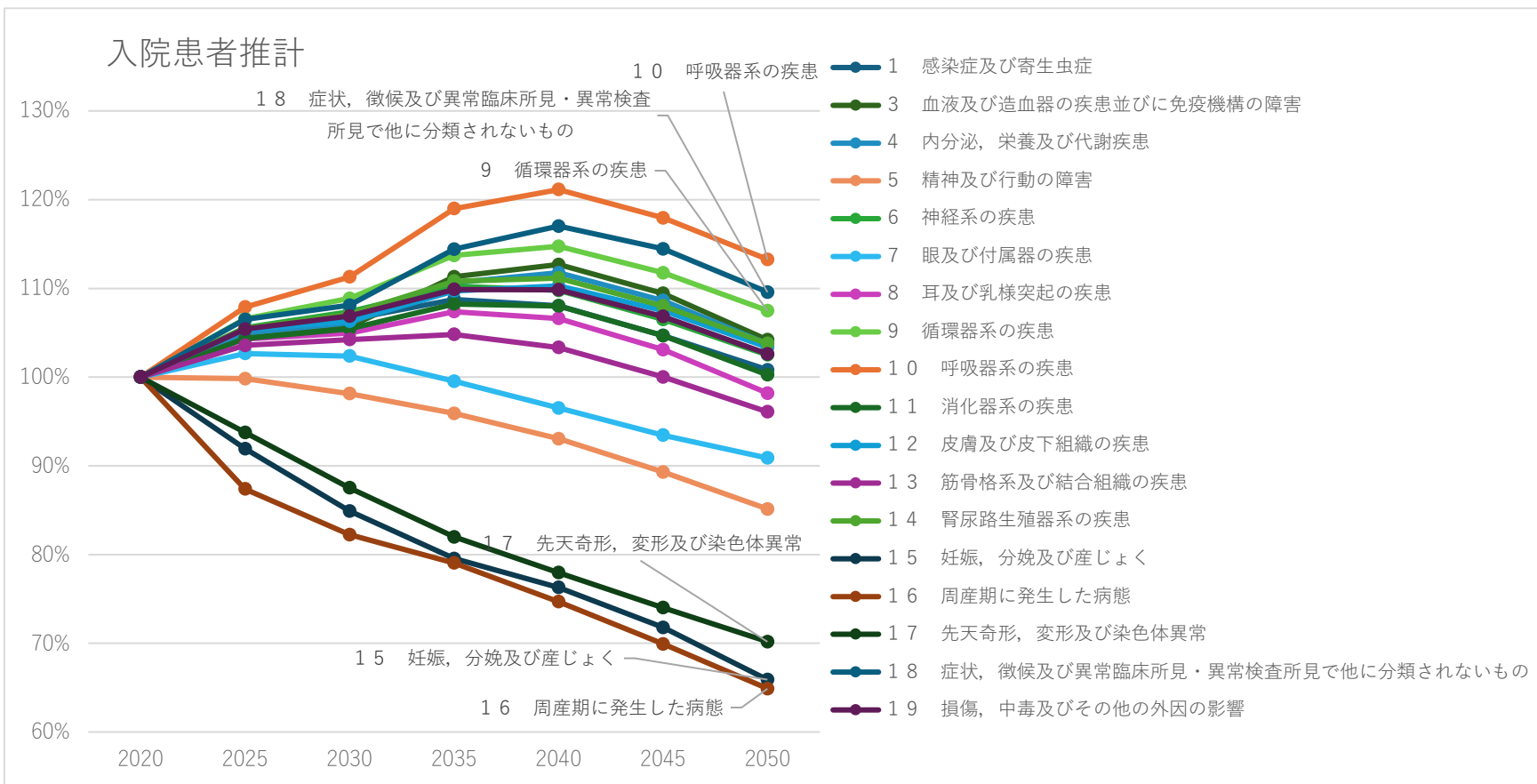
・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
(対応する診療科)
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕
(対応する診療科)
→小児科
- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科

8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

【入院患者推計】

呼吸器、循環器、内分泌、血液、腎尿路、損傷、神経、消化器系は、2040年頃まで増加が続く見込み
 周産期、妊娠・分娩、先天奇形、精神系は、漸次減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、2040年にピークを迎え、その後入院患者は減少に転じると思料

・2050年時点で、増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列10〔呼吸器系の疾患〕

(対応する診療科)

→呼吸器内科、呼吸器外科

系列9〔循環器系の疾患〕

(対応する診療科)

→循環器内科、心臓血管外科

系列14〔腎尿路生殖器系の疾患〕

(対応する診療科)

→腎臓内科、泌尿器科、婦人科

系列3〔血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害〕

(対応する診療科)

→血液内科、アレルギー科

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列16〔周産期に発生した病態〕

系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕

→産婦人科、産科、婦人科

系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕

(対応する診療科)

→小児科

9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
八女市	病院	175	294.3
	診療	114	191.7
筑後市	病院	61	102.6
	診療	97	199.1
広川町	病院	45	92.4
	診療	52	106.7
八女・筑後 計	病院	43	217.1
	診療	27	136.3
福岡県 計	病院	16	80.8
	診療	315	246.1
福岡県 計	病院	186	145.3
	診療	129	100.8
福岡県 計	病院	15,968	312.0
	診療	11,025	215.4
福岡県 計	病院	4,943	96.6
	診療		

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	久留米	407.8	1/13	4/330
	八女・筑後	216.3	8/13	118/330
	有明	233.6	5/13	90/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	久留米	170.3	1/13	13/303
	八女・筑後	89.0	9/13	217/303
	有明	124.3	4/13	86/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数が100を切っている市はないが、診療所勤務医師数は県よりも多い結果となっている
- ・医師偏在指標を見ると、八女・筑後区域は医師全体の県内順位は8位で、小児科医師は県内順位の9位とやや低位にある

9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	久留米	八女・筑後	有明	福岡県
90 -	0	3	1	23
85 - 89	5	0	1	43
80 - 84	9	2	5	74
75 - 79	32	14	12	208
70 - 74	52	19	31	466
65 - 69	44	21	26	550
60 - 64	34	9	25	544
55 - 59	33	7	18	419
50 - 54	28	8	9	321
45 - 49	29	7	5	243
40 - 44	7	0	4	121
35 - 39	3	1	1	31
30 - 34	0	0	0	9
- 29	0	0	0	1
Total	276	91	138	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「65-69」「70-74」がボリュームゾーンとなっており、県や他の地区に比べると60歳未満の医師数が少ない状況である

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

10. 医療従事者数〔医師・診療科〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少	減少 減少		減少	減少 減少	減少	減少 増加
	内科	整形外科	外科	精神科	循環器内科	小児科	臨床研修医	消化器内科 (胃腸内科)	眼科	皮膚科	呼吸器内科
八女市	33	19	12	11	7	6	9	4	6	5	6
筑後市	20	10	8	6	5	6	4	7	5	4	2
広川町	18	7	-	-	2	1	-	1	1	1	1
八女・筑後	71	36	20	17	14	13	13	12	12	10	9

外来 入院		減少 減少	減少	減少	減少	減少 減少		減少		減少	
	産婦人科	麻酔科	腎臓内科	糖尿病内科 (代謝内科)	泌尿器科	耳鼻 いんこう科	脳神経内科	消化器外科 (胃腸外科)	リハビリテー ション科	放射線科	血液内科
八女市	8	5	4	3	2	3	1	4	3	2	1
筑後市	1	2	1	3	3	2	1	-	-	2	-
広川町	-	2	1	-	1	1	2	-	1	-	-
八女・筑後	9	9	6	6	6	6	4	4	4	4	1

外来 入院		減少 減少	減少 増加	減少	減少	減少	減少 減少			
	心療内科	呼吸器外科	心臓血管 外科	乳腺外科	肛門外科	形成外科	産科	病理診断科	その他	不詳
八女市	-	1	-	1	-	1	-	1	9	1
筑後市	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
広川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
八女・筑後	1	1	1	1	1	1	1	1	9	2

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の主な意見

- ・同じ医師が複数の産業医を担っているケースがあり、数が不足している 新規開業医には産業医を担っていただきたい

- ・八女市東部は広くアクセスも悪く、西部とは状況が大きく異なる

地域を分けて考える必要がある

- ・死体検案を担う医師が少ない

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

11. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	
		常勤	非常勤				高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
八女市	公立八女総合病院		53	83.0%	289.9	5.6	10	247	43	0	0	73.8%	2,340	救急告示
		常勤	44		276	0								
		非常勤	9		13.9	5.6								
	柳病院		14.6	55.0%	80.6	9.4	0	44	49	42	0	80.7%	226	救急告示
		常勤	8		75	8								
		非常勤	6.6		5.6	1.4								
	医療法人社団慶仁会 川崎病院		20.9	86.0%	130.1	10.9	0	95	100	20	0	82.5%	616	救急告示
		常勤	18		111	7								
		非常勤	2.9		19.1	3.9								
	みどりの杜病院		5	100.0%	27	0	0	0	0	30	0	79.6%	0	
		常勤	5		26	0								
		非常勤	0		1	0								
	耳納高原病院		4.5	44.0%	25.1	18.8	0	0	0	160	0	88.4%	0	
		常勤	2		23	18								
		非常勤	2.5		2.1	0.8								
	八女リハビリ病院		9.1	77.0%	62.5	11.2	0	0	138	52	0	83.9%	*	
		常勤	7		58	10								
		非常勤	2.1		4.5	1.2								
医療法人八女健朋会 八媛病院		0	-	9	10	0	0	0	60	0	3.6%	*		
	常勤	0		8	10									
	非常勤	0		1	0									
藤本産婦人科医院		6	100.0%	3	8	0	17	0	0	0	9.2%	0		
	常勤	6		3	8									
	非常勤	0		0	0									
医療法人慈母会 池田レディースクリニック		2	100.0%	3.1	6.8	0	16	0	0	0	50.7%	0		
	常勤	2		2	6									
	非常勤	0		1.1	0.8									
医療法人正慈会 草場内科循環器科医院		2.2	91.0%	2	6.8	0	19	0	0	0	56.2%	0		
	常勤	2		2	6									
	非常勤	0.2		0	0.8									

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
		常勤	非常勤				高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
八女市	原医院		2	100.0%	0	4	0	0	0	0	9	0.0%	0
		常勤	2		0	4							
		非常勤	0		0	0							
筑後市	地方独立行政法人筑後市立病院		42.3	73.0%	171.5	3.9	4	170	57	0	0	76.5%	1,539
		常勤	31		161	3							
		非常勤	11.3		10.5	0.9							
	医療法人清友会 植田病院		8.7	80.0%	33	34.2	0	0	0	41	0	96.0%	0
		常勤	7		31	30							
		非常勤	1.7		2	4.2							
	小林レディースクリニック		1.1	91.0%	3.9	4	0	10	0	0	0	37.7%	0
		常勤	1		1	2							
		非常勤	0.1		2.9	2							
	医療法人おおた胃腸科クリニック		1.5	67.0%	1.4	5.2	0	9	0	0	0	10.5%	0
		常勤	1		0	4							
		非常勤	0.5		1.4	1.2							
	医療法人中村クリニック		6	50.0%	22	10	0	6	0	0	0	18.6%	0
		常勤	3		11	5							
		非常勤	3		11	5							
医療法人チクゴ医院		1.2	83.0%	2.3	9	0	0	0	15	0	60.3%	0	
	常勤	1		2	9								
	非常勤	0.2		0.3	0								
広川町	馬場病院		6.8	59.0%	20.8	7	0	60	0	0	0	50.7%	*
		常勤	4		20	7							
		非常勤	2.8		0.8	0							
	姫野病院		23.8	67.0%	207.5	19	0	70	70	0	0	106.0%	888
		常勤	16		193	17							
		非常勤	7.8		14.5	2							
	医療法人 広川病院		5.9	68.0%	44.8	52.2	0	0	0	211	0	72.9%	0
		常勤	4		43	48							
		非常勤	1.9		1.8	4.2							

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

救急告示

救急告示

救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
広川町	横田病院		5.8	52.0%	13.2	5.8	0	52	0	0	0	61.4%	*
		常勤	3		12	5							
		非常勤	2.8		1.2	0.8							
	江本二ーアンドスポーツクリニック		4	75.0%	8.3	2	0	19	0	0	0	98.2%	0
		常勤	3		5	2							
		非常勤	1		3.3	0							

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「*」表記

12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):400千円(偏差値56)

一人当たり介護給付費:269千円(偏差値52)

●【医療の現状】

病院数:14、人口10万人当たり10.8(偏差値60)

診療所数:122、人口10万人当たり94(偏差値57)

総医師数:369、人口10万人当たり285(偏差値48)

専門医数

小児科:10、人口10万人当たり7.7(偏差値43)

産婦人科:5、人口10万人当たり3.9(偏差値38)

総合内科:16、人口10万人当たり12.4(偏差値39)

看護師数:1,831、人口10万人当たり1,415(偏差値67)

●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:2,317、75歳以上1,000人当たり106(偏差値56)

(うち、介護保険施設定員:1,627、75歳以上1,000人当たり74(偏差値63)

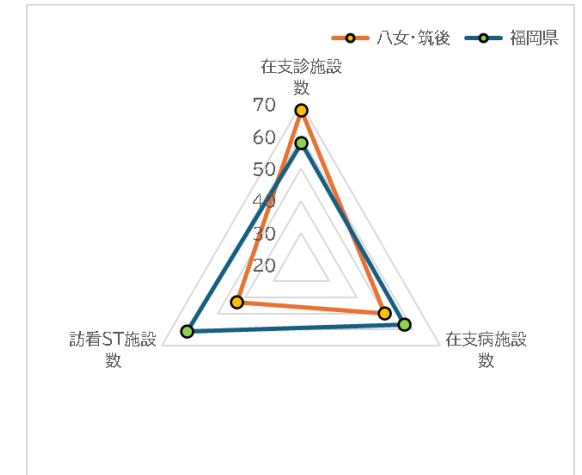
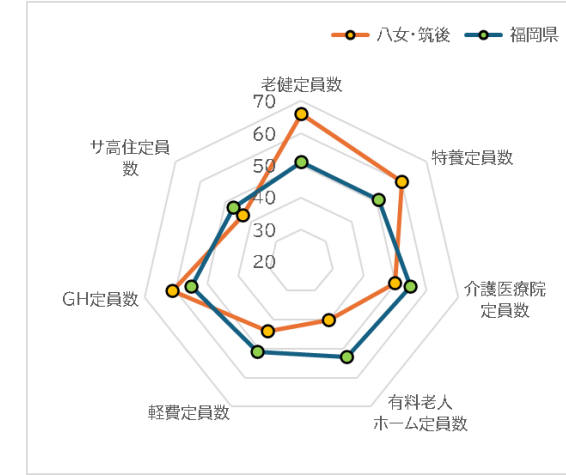
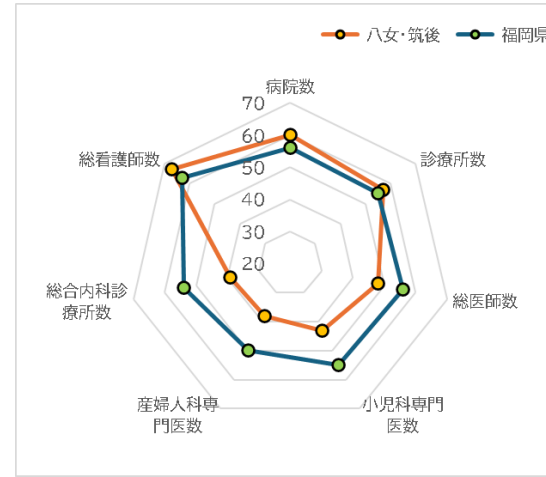
(うち、高齢者住宅定員:690、75歳以上1,000人当たり32(偏差値43)

介護職員数:1,964、75歳以上1,000人当たり90(偏差値65)

施設別定員数:老健施設654(偏差値66)、特養925(偏差値60)、介護医療院48(偏差値50)

(75歳以上1,000人当たり)有料4.1(偏差値40)、軽費0(偏差値44)、GH17.7(偏差値61)、サ高住9.8(偏差値43)

在宅ケア(施設数):在支診34(偏差値68)、在支病2(偏差値50)、訪看ST13(偏差値43)



12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086	
久留米	49 → 47	449 → 431	106 → 81	51 → 115	
八女・筑後	14 → 14	122 → 121	39 → 27	12 → 28	
有明	33 → 31	214 → 200	52 → 39	25 → 39	

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●市町別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
八女市	8 →	8	61 →	57
筑後市	2 →	2	48 →	50
広川町	4 →	4	13 →	14
八女・筑後	14 →	14	122 →	121

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対 医療機関数
	病院	診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
久留米	35 → 33	8 → 7	27 → 26	57.1 → 57.6
八女・筑後	9 → 9	3 → 3	6 → 6	51.1 → 53.7
有明	25 → 22	12 → 9	13 → 13	98.4 → 92.4

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
久留米	3 → 3	14 → 11
八女・筑後	2 → 1	3 → 3
有明	1 → 1	5 → 4

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、八女・筑後区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師も、県全体、全国よりも多いという状況である

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、八女・筑後区域は、県全体よりも少なく、全国より多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は8.0人と県全体、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は、3.8人と県全体よりも少なく、全国と概ね同程度となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、八女・筑後区域は、県全体、全国よりもかなり多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は90.0人と県全体、全国よりも多い状況となっている

在宅については、10.8人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、八女・筑後区域は、県平均よりも多い状況となっている

・八女・筑後区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、八女・筑後区域は、県平均よりも多い状況となっている

・八女・筑後区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所がほぼ同数で、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

14. 在宅医療の状況

福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

【調査時期】

毎年5月～7月頃

【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・八女・筑後区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が8件、「現状維持」が22件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が4件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数の増加は0件で、ほぼ現状維持となっている

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

- ・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、八女・筑後区域では、「60~69歳」が29.6%で最も高く、次いで「40~49歳」22.2%、「50~59歳」が19.8%となっている
- ・八女・筑後区域については、今後、老年人口が増えて、在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、在宅医療に従事する医師の確保を検討していく必要があるのではないか

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

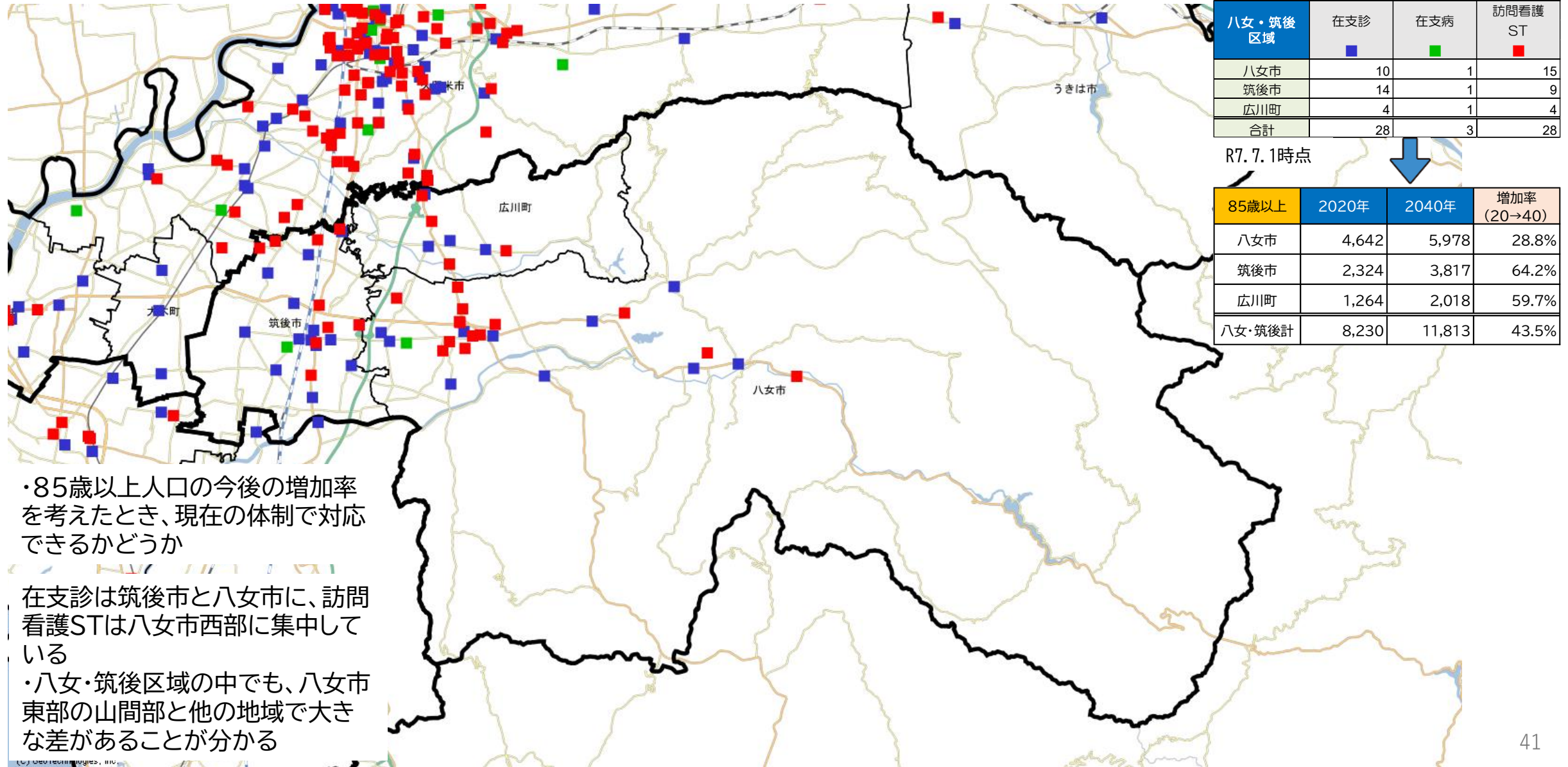
●在宅医療機関数(市町別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
八女市	19	209	1	126	18	239	0	124	-1	30	-1	-2	2	8	4
筑後市	20	162	0	22	20	172	0	21	0	10	0	-1	4	10	0
広川町	6	408	1	170	7	438	1	98	1	30	0	-72	2	4	0
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市町別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
八女市	23	20	0.5	20.5	1	(4.3%)	1	(4.3%)	2	(8.7%)	5	(21.7%)	8	(34.8%)	6	(26.1%)
筑後市	33	23	4.7	27.7	0	(0.0%)	6	(18.2%)	8	(24.2%)	3	(9.1%)	11	(33.3%)	5	(15.2%)
広川町	25	20	7.8	27.8	0	(0.0%)	2	(8.0%)	8	(32.0%)	8	(32.0%)	5	(20.0%)	2	(8.0%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)

14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診は筑後市と八女市に、訪問看護STは八女市西部に集中している

・八女・筑後区域の中でも、八女市東部の山間部と他の地域で大きな差があることが分かる

15. 看護職員の状況

看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

【調査時期】

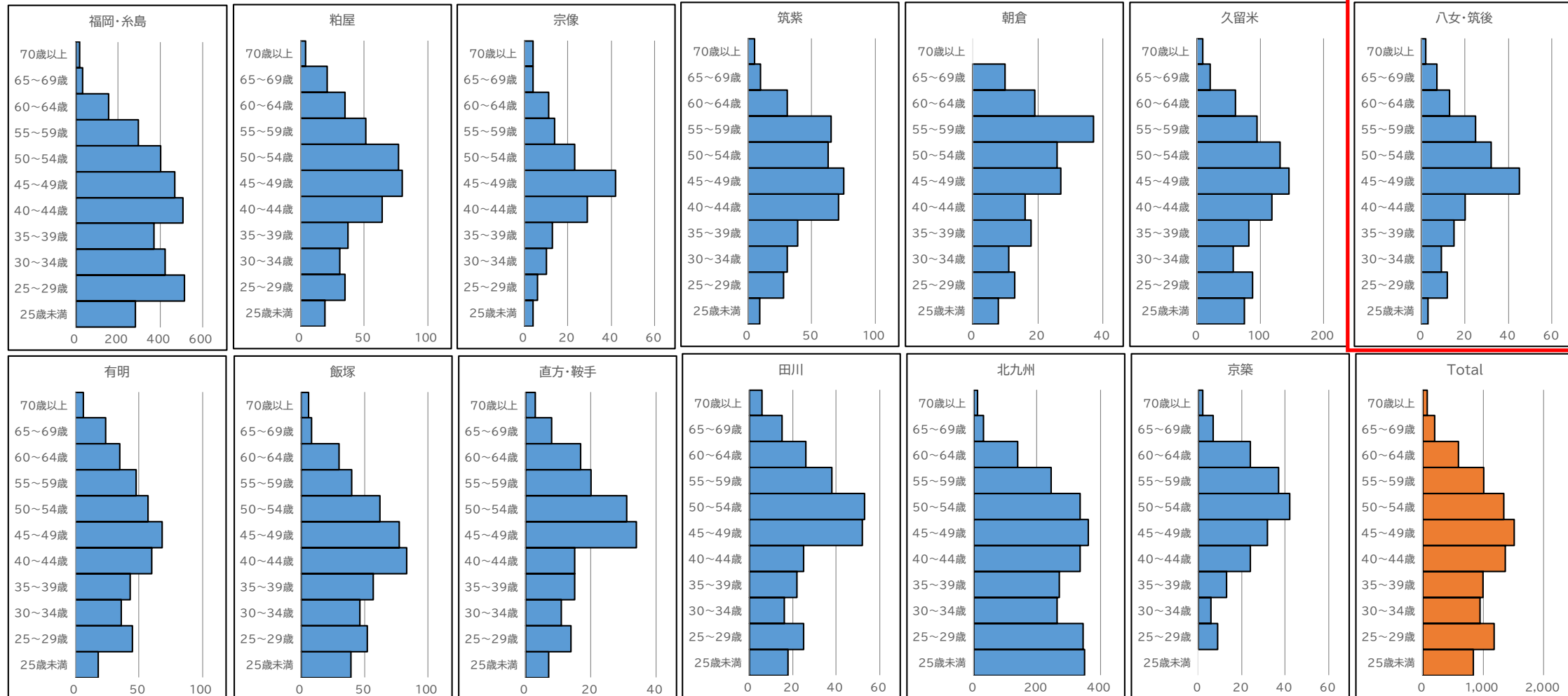
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・八女・筑後区域の年齢構成ピラミッドを見ると、45歳未満の層が極端に少ない状況になっており、他の区域と比べても、その状況がわかる
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

八女・筑後区域は、H28年からR5年の7年間で人口が5,177人減少(4.1%減)している

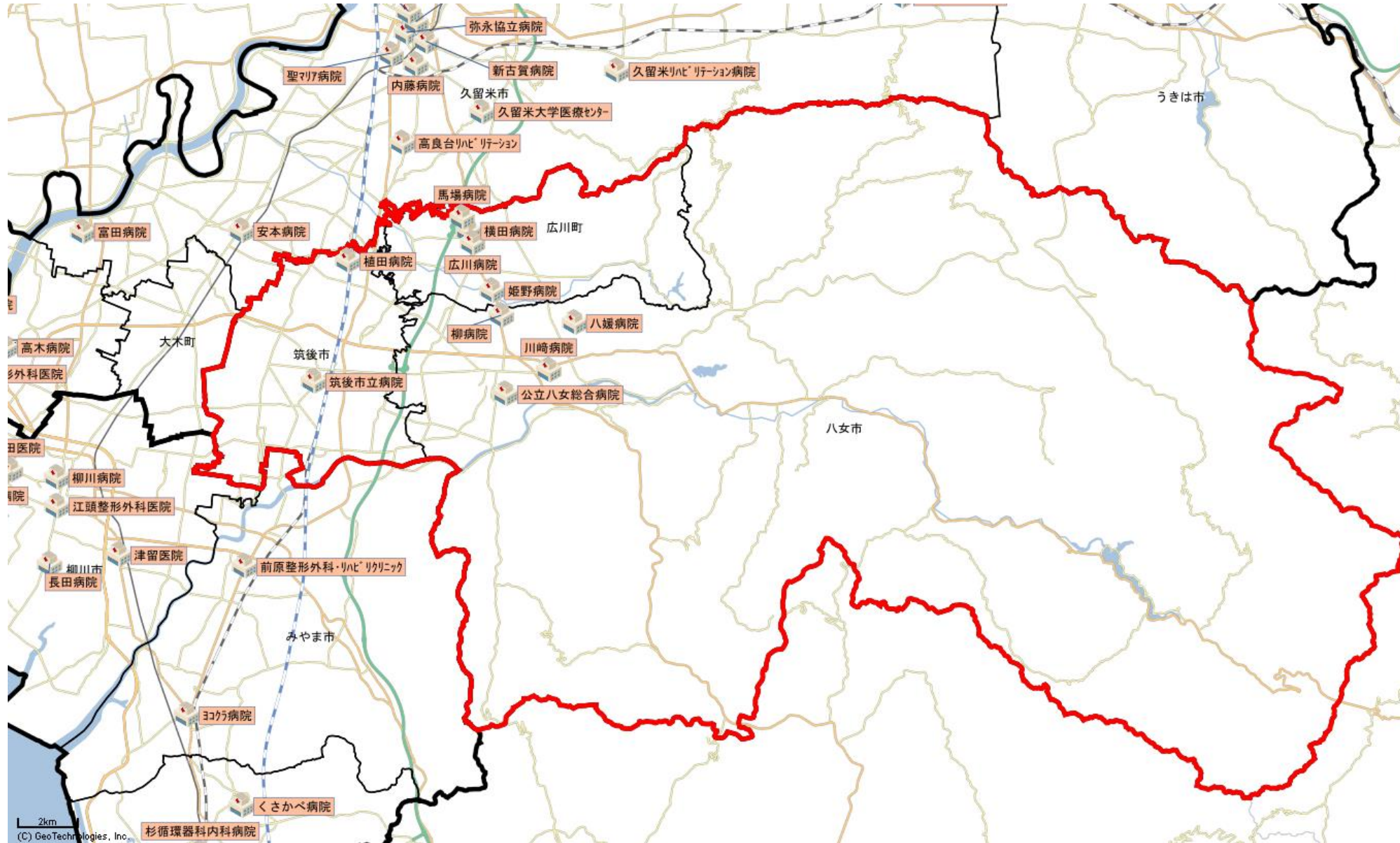
この7年間で推計流入患者割合は2.3ポイント増加、推計流出患者割合は、5.5ポイント増加しており、流入患者よりも流出患者の方が高い割合となっている

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)



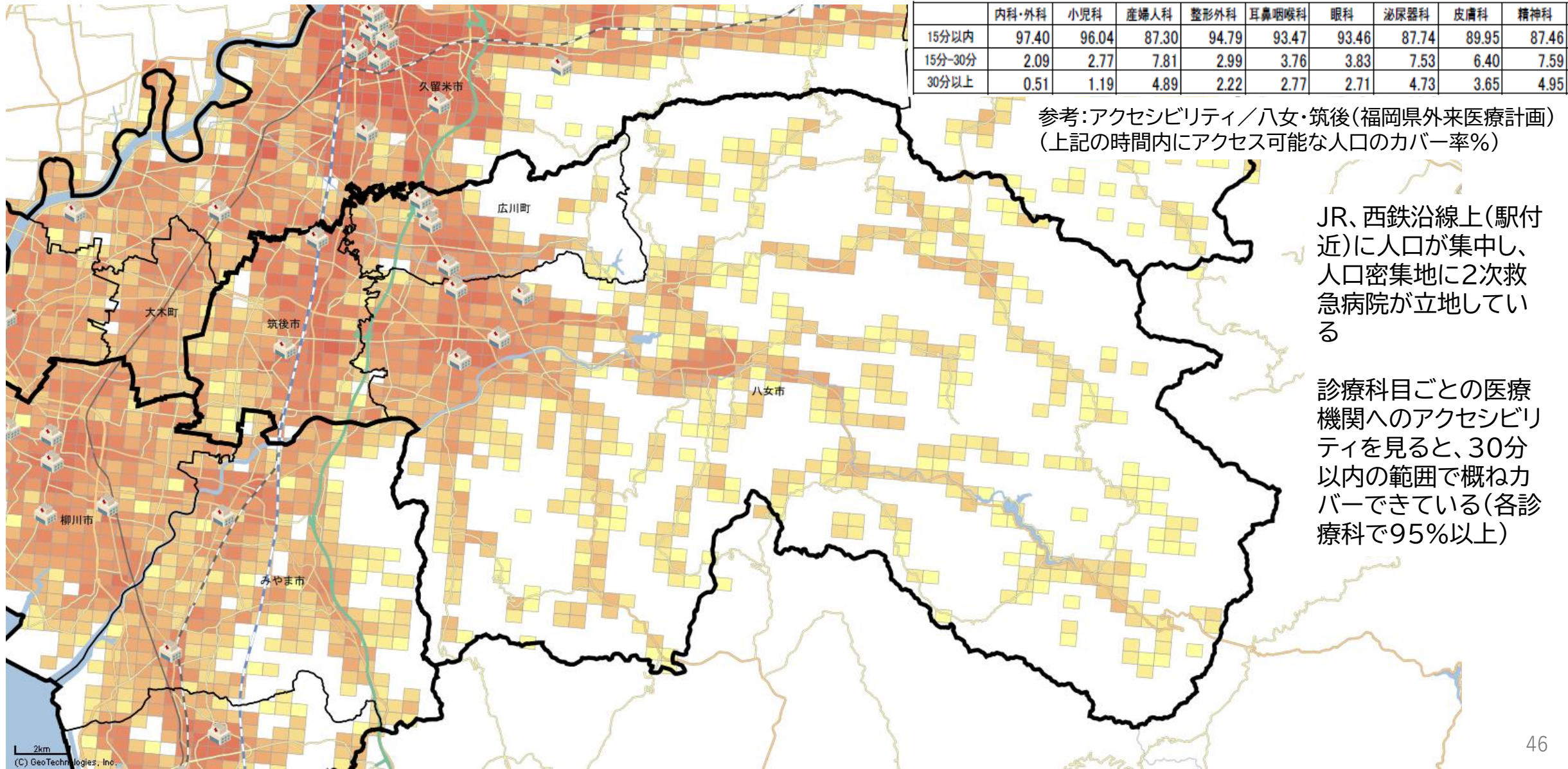
・八女・筑後医療圏は、久留米医療圏、有明医療圏と接している

・医療の状況を見ると、八女・筑後医療圏内には、10の二次救急があるが、急患センターは設置されていない

・隣接する久留米医療圏には22の二次救急、三次救急の久留米大学病院高度救命救急センターと聖マリア病院救命救急センターがある

・有明医療圏には22の二次救急がある

18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



2km
(C) GeoTechnologies, Inc.

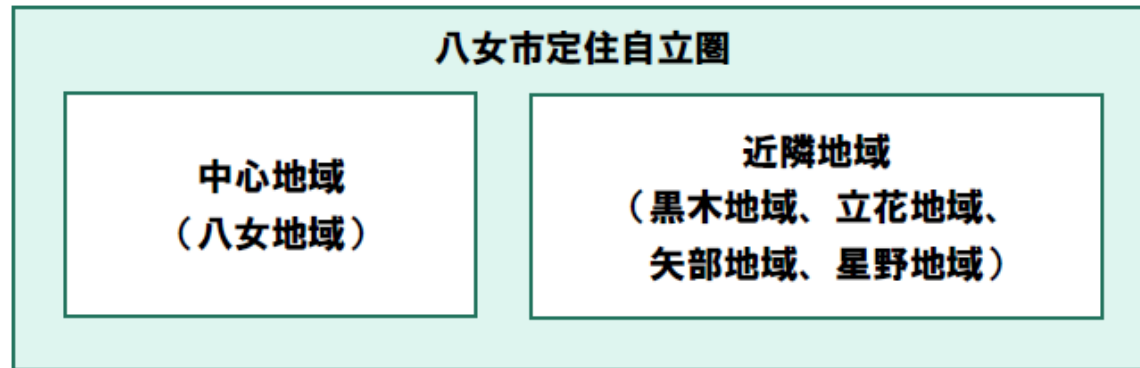
19. (参考)八女市定住自立圏

八女市定住自立圏

(構成市町:八女市(八女市、旧黒木町、旧立花町、旧矢部村、旧星野村))

平成21年4月24日に八女市が「中心市宣言」を行い、定住自立圏構想のもと、通勤・通学圏、医療圏、商圈等の状況を踏まえ、平成21年12月25日に八女市、旧黒木町、旧立花町、旧矢部村、旧星野村で協定を締結し、「八女市地域定住自立圏」を形成
※合併一市型

【具体的な取組:予約型乗合タクシー事業】



〔概要〕

広大な山間地域を抱え、全国平均を大きく上回る高齢化が進むなか、定住自立圏構想の柱の一つである地域公共交通の維持・確保を図るため、既存の路線バス、患者輸送車、福祉バス等の地域生活交通を抜本的に見直し、デマンド型公共交通である予約型乗合タクシー事業を導入し、市内に点在していた交通空白地域の解消を図り、安全・安心のまちづくりを推進する

〔圏域の役割分担〕

中心地域(八女市)は、予約型乗合タクシーの運行と、広域幹線路線バスとの連絡強化による持続可能な交通体系の構築を図る
近隣地域(旧黒木町、旧立花町、旧矢部村、旧星野村)は、中心地域及び関係機関と連携し、必要な調整を行うとともに、事業を住民に周知し、その利用促進を図る

〔KPI〕

予約型乗合タクシーの1日平均利用者数 : 計画時現状値204人(H30)、目標200人(R7) →実績値155.4人(R5)

20. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
筑後市消防本部	2,145	0 (0.0%)	103 (4.8%)	89 (4.1%)	584 (27.2%)	1,369 (63.8%)	1,827 (85.2%)	318 (14.8%)	0 (0.0%)
八女消防本部	4,234	5 (0.1%)	156 (3.7%)	139 (3.3%)	1,003 (23.7%)	2,931 (69.2%)	3,685 (87.0%)	549 (13.0%)	0 (0.0%)
八女・筑後区域計	6,379	5 (0.1%)	259 (4.1%)	228 (3.6%)	1,587 (24.9%)	4,300 (67.4%)	5,512 (86.4%)	867 (13.6%)	0 (0.0%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める 高齢者数(人、割合)
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	
筑後市消防本部	47 (2.2%)	0 (0.0%)	231 (10.8%)	793 (37.0%)	1,074 (50.1%)	0 (0.0%)	528 (49.2%)
八女消防本部	72 (1.7%)	0 (0.0%)	401 (9.5%)	2,153 (50.9%)	1,608 (38.0%)	0 (0.0%)	852 (53.0%)
八女・筑後区域計	119 (1.9%)	0 (0.0%)	632 (9.9%)	2,946 (46.2%)	2,682 (42.0%)	0 (0.0%)	1,380 (51.5%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、八女・筑後区域、県ともに高齢者の割合が高い
→ 八女・筑後67.4%、県62.4%
- ・症状別では、八女・筑後区域は県に比べて「軽症」の割合が高い
→ 八女・筑後42.0%、県39.6%
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、八女・筑後区域が県よりも若干高い
→ 八女・筑後51.5%、県47.7%

20. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院:病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
筑後市消防本部	2,145	1,369	838 (61.2%)	425 (31.0%)	86 (6.3%)	82 (6.0%)	181 (13.2%)	9 (0.7%)	87 (6.4%)	10 (0.7%)
八女消防本部	4,234	2,931	1,688 (57.6%)	1,011 (34.5%)	307 (10.5%)	93 (3.2%)	460 (15.7%)	30 (1.0%)	147 (5.0%)	55 (1.9%)
八女・筑後区域計	6,379	4,300	2,526 (58.7%)	1,436 (33.4%)	393 (9.1%)	175 (4.1%)	641 (14.9%)	39 (0.9%)	234 (5.4%)	65 (1.5%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、八女・筑後区域ともに、「住宅」が最も割合が高い
→八女・筑後58.7%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

20. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数					搬送先	
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	うち高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)
筑後市消防本部	2,145	34.51	1,900 (88.6%)	178 (8.3%)	33 (1.5%)	34 (1.6%)	27 (79.4%)	945 (44.1%)	1,200 (55.9%)
八女消防本部	4,234	35.79	3,602 (85.1%)	415 (9.8%)	124 (2.9%)	93 (2.2%)	70 (75.3%)	3,198 (75.5%)	1,036 (24.5%)
八女・筑後区域計	6,379	35.36	5,502 (86.3%)	593 (9.3%)	157 (2.5%)	127 (2.0%)	97 (76.4%)	4,143 (64.9%)	2,236 (35.1%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

【八女・筑後区域各消防本部の主な搬送先】

(筑後市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 筑後市立病院	筑後市	940	43.8%	58.1%	31.5%	6.2%						
2位 聖マリア病院	久留米市	559	26.1%	51.3%	27.0%	20.6%						
3位 公立八女総合病院	八女市	380	17.7%	41.3%	49.5%	8.9%						
4位 医療法人八女発心会 姫野病院	広川町	50	2.3%	38.0%	56.0%	6.0%						
5位 医療法人社団慶仁会 川崎病院	八女市	44	2.1%	59.1%	34.1%	6.8%						
1位～5位の合計		1,973	92.0%	52.5%	34.4%	10.8%						
総計		2,145	100.0%	50.1%	37.0%	10.8%						

(八女消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 公立八女総合病院	八女市	1,666	39.3%	40.3%	51.4%	7.0%						
2位 医療法人八女発心会 姫野病院	広川町	657	15.5%	42.2%	45.5%	8.8%						
3位 聖マリア病院	久留米市	625	14.8%	43.8%	43.5%	12.3%						
4位 医療法人社団慶仁会 川崎病院	八女市	554	13.1%	43.0%	43.1%	10.3%						
5位 柳病院	八女市	222	5.2%	16.2%	79.3%	3.6%						
1位～5位の合計		3,724	88.0%	40.2%	49.5%	8.5%						
総計		4,234	100.0%	38.0%	50.9%	9.5%						

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分で、筑後市消防本部34.5分、八女消防本部が35.8分である

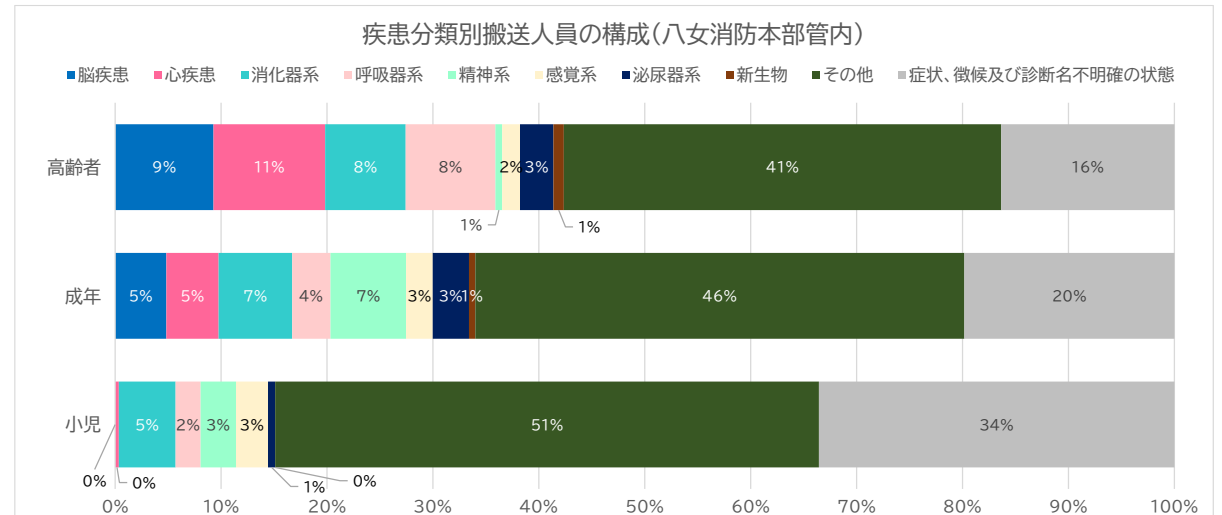
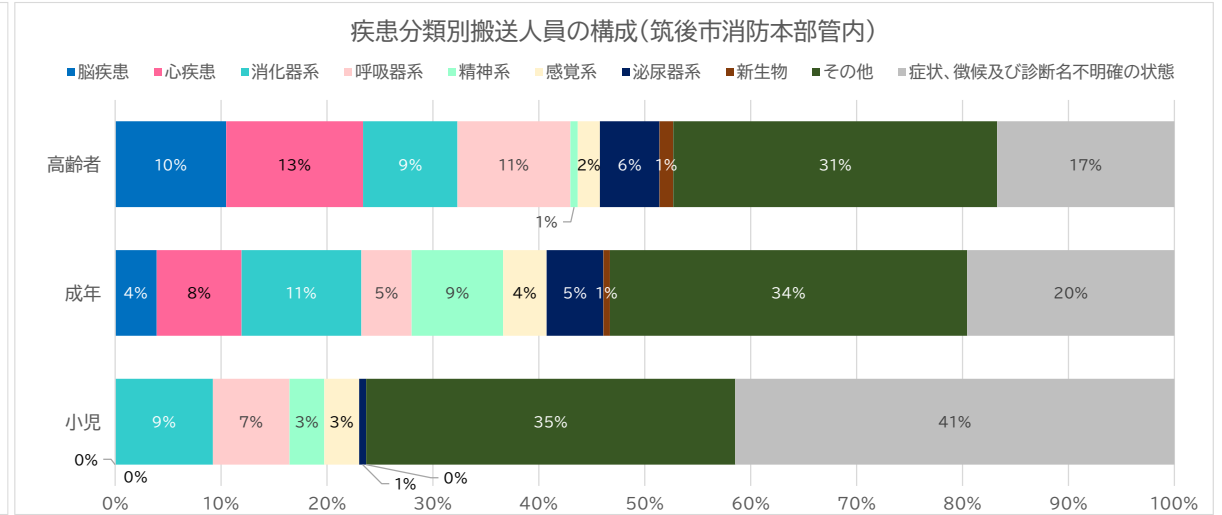
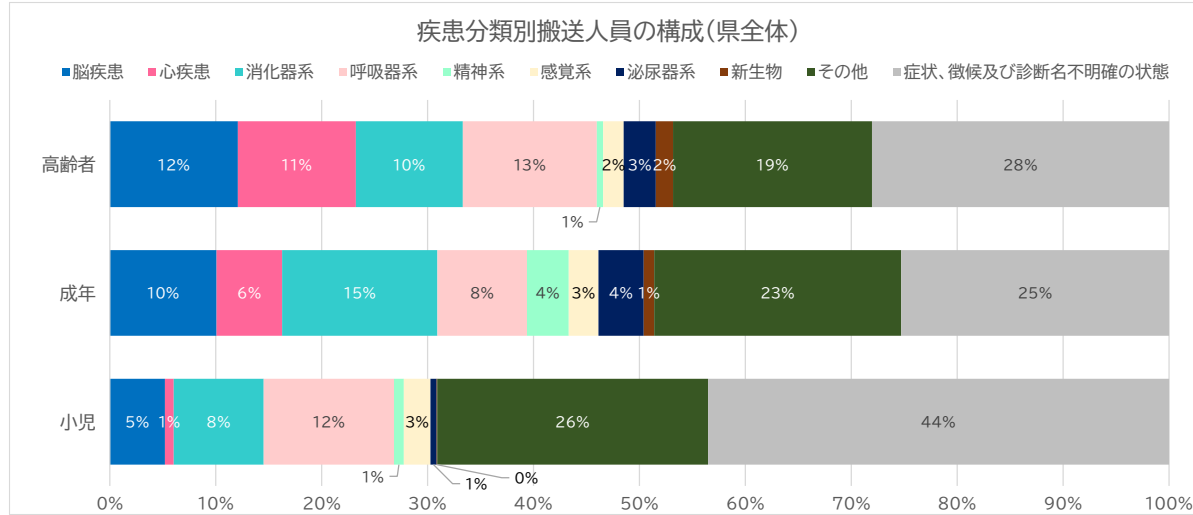
※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、八女・筑後区域が86.3%で、1回までに決まる割合は、筑後市消防本部で88.6%と高くなっている。ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも八女・筑後区域が高い

・八女・筑後区域各消防本部の主な搬送先を見ると、筑後市消防本部は、域内の「筑後市立病院」、「公立八女総合病院」に6割、域外の「聖マリア病院」(久留米市)に26.1%が搬送されている。八女消防本部は、域内の「公立八女総合病院」、「医療法人八女発心会姫野病院」に5割超が搬送されている

20. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 疾患分類別搬送人員の構成



20. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

- 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る八女・筑後区域内の各消防本部の搬送状況 * 搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

筑後市消防本部

救急患者:192人(うち 搬送先 管内26人(13.5%)、管外166人(86.5%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 筑後市立病院	26人	100.0%
-	-	-
-	-	-
管内総計	26人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 聖マリア病院	久留米市	144人	86.7%
-	-	-	-
-	-	-	-
管外総計		166人	100.0%

【参考】筑後市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	187人 (97.4%)
2回	5人 (2.6%)
3回	0人 (0.0%)
4回以上	0人 (0.0%)

収容平均所要時間 35.33分

八女消防本部

救急患者:300人(うち 搬送先 管内104人(34.7%)、管外196人(65.3%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 公立八女総合病院	58人	55.8%
2位 医療法人社団慶仁会 川崎病院	23人	22.1%
3位 医療法人八女発心会 姫野病院	19人	18.3%
管内総計	104人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 聖マリア病院	久留米市	183人	93.4%
-	-	-	-
-	-	-	-
管外総計		196人	100.0%

【参考】八女消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	266人 (88.7%)
2回	20人 (6.7%)
3回	8人 (2.7%)
4回以上	6人 (2.0%)

収容平均所要時間 37.19分

- 小児に係る八女・筑後区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	1位					
		1位		2位		3位	
1位 公立八女総合病院	69人	八女消防本部	84.1%	筑後市消防本部	11.6%	みやま市消防本部	2.9%
2位 筑後市立病院	36人	筑後市消防本部	72.2%	みやま市消防本部	13.9%	久留米広域消防本部	8.3%
3位 医療法人社団慶仁会 川崎病院	25人	八女消防本部	92.0%	みやま市消防本部	8.0%	-	-

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

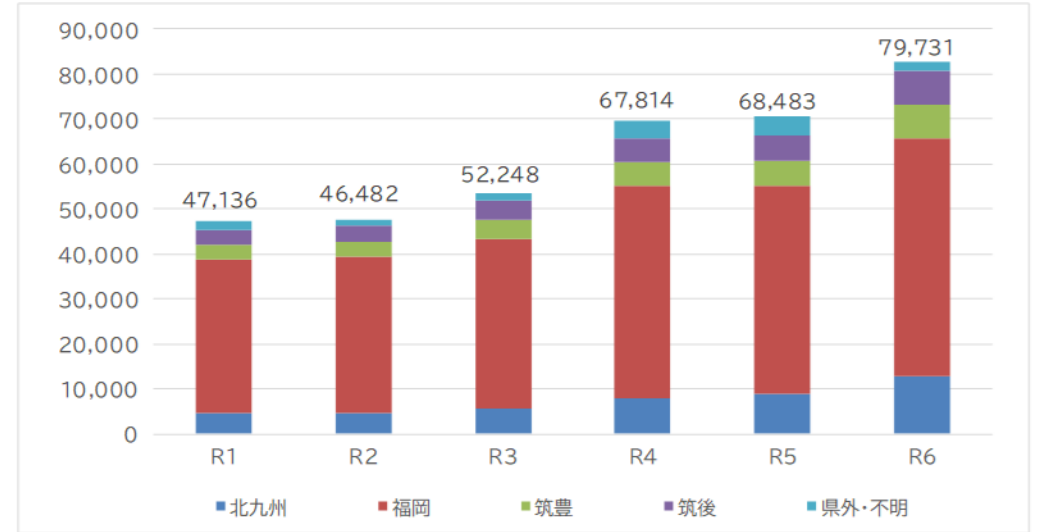
収容平均所要時間 37.55分

21. 救急医療電話相談利用件数

●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

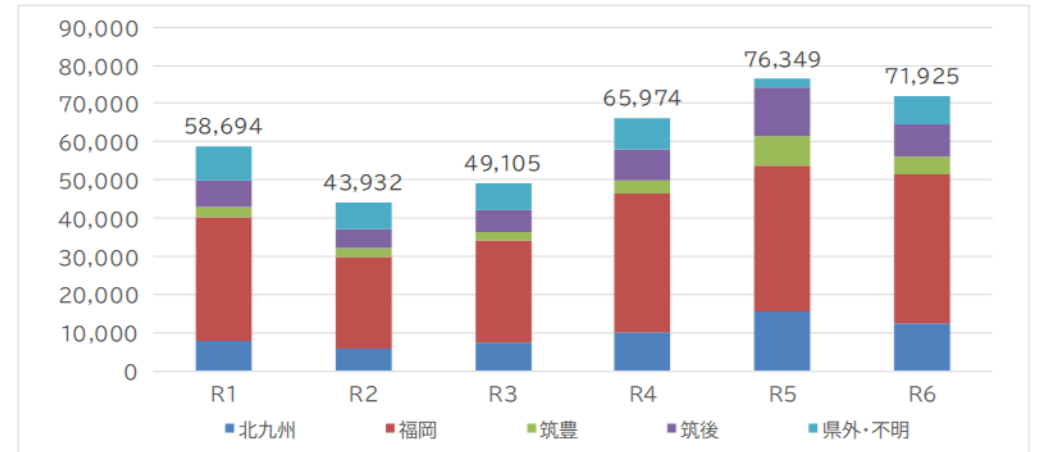
福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった
 筑後地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1,856件増加し、過去最多の7,526件となった



●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である
 筑後地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の1万2,649件で、R6年度は8,656件となった



*地域別の件数は相談者居住地による相談件数

22. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
眼科系 (02)	: 筑後市立病院 (68.6%)、公立八女総合病院 (31.4%)
耳鼻科系 (03)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
呼吸器系 (04)	: 公立八女総合病院 (81.5%)、筑後市立病院 (18.5%)
循環器系 (05)	: 公立八女総合病院 (52.5%)、筑後市立病院 (47.5%)
消化器系 (06)	: 筑後市立病院 (62.8%)、柳病院 (27.0%)、公立八女総合病院 (10.3%)
筋骨格系 (07)	: (医)慶仁会川崎病院 (58.3%)、筑後市立病院 (19.4%)、公立八女総合病院 (12.6%)
皮膚系 (08)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
乳房系 (09)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
腎尿路系 (11)	: 公立八女総合病院 (55.8%)、筑後市立病院 (37.5%)、姫野病院 (6.7%)
女性系 (12)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
血液系 (13)	: 筑後市立病院 (53.6%)、公立八女総合病院 (46.4%)
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 筑後市立病院 (36.5%)、(医)慶仁会川崎病院 (36.1%)、姫野病院 (17.0%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 公立八女総合病院 (100.0%)

22. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 公立八女総合病院 (61.0%)、姫野病院 (16.7%)、(医) 繁桜会馬場病院 (12.3%)
眼科系 (02)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
耳鼻科系 (03)	: 公立八女総合病院 (55.4%)、筑後市立病院 (13.1%)、姫野病院 (12.3%)
呼吸器系 (04)	: 公立八女総合病院 (54.1%)、姫野病院 (19.0%)、筑後市立病院 (17.9%)
循環器系 (05)	: 公立八女総合病院 (80.5%)、姫野病院 (8.2%)
消化器系 (06)	: 柳病院 (36.6%)、筑後市立病院 (33.5%)、公立八女総合病院 (20.5%)
筋骨格系 (07)	: 公立八女総合病院 (29.4%)、(医) 柳育会八女リハビリ病院 (21.7%)、(医) 慶仁会川崎病院 (19.9%)
皮膚系 (08)	: 公立八女総合病院 (57.1%)、姫野病院 (27.0%)、筑後市立病院 (15.9%)
乳房系 (09)	: —
内分泌系 (10)	: 筑後市立病院 (42.0%)、公立八女総合病院 (29.9%)、姫野病院 (22.4%)
腎尿路系 (11)	: 公立八女総合病院 (51.9%)、筑後市立病院 (29.7%)、姫野病院 (11.0%)
女性系 (12)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
血液系 (13)	: 公立八女総合病院 (42.3%)、筑後市立病院 (21.8%)、柳病院 (19.2%)
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 姫野病院 (28.1%)、公立八女総合病院 (23.6%)、筑後市立病院 (19.0%)
精神系 (17)	: 公立八女総合病院 (100.0%)
その他 (18)	: 公立八女総合病院 (63.8%)、筑後市立病院 (18.8%)、姫野病院 (17.4%)